

平成29年度  
NPO強化を通じた若者定着・地域活性化事業  
「NPO、企業、学生との連携・協力事業」

# NPOと企業等とのマッチング事業 報告書



福島県  
ふくしま地域活動団体サポートセンター

事業委託：福島県企画調整部文化スポーツ局 文化振興課  
事業受託：認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

# 目 次

|                                 |      |
|---------------------------------|------|
| 1. 事業の目的 .....                  | P.3  |
| 2. 実施スケジュール .....               | P.4  |
| 3. 事前アンケート調査について .....          | P.5  |
| 4. NPO事前講座について .....            | P.11 |
| 5. NPOと企業の協働マッチング会について .....    | P.18 |
| 6. マッチング会における参加NPOプレゼン資料 .....  | P.25 |
| 7. マッチング事業 参加NPO .....          | P.59 |
| 8. マッチング事業 参加企業 .....           | P.60 |
| 9. NPOと企業の協働マッチング会後の協働事業の成果 ... | P.61 |



## 1 事業の目的

ますます多様化・複雑化する社会で、福島県に於いても多くのNPOが様々な地域課題に立ち向かい解決すべく日々活動している。しかし各団体の組織力・資金力は脆弱であり、社会の期待に応えきれているとは言い難いのが現状である。一方、企業のCSR活動は、各企業の社会的な存在意義や企業価値の向上を目指して盛んになりつつも、大義を目指した、そして実際に地に足を付けた地域密着の貢献活動にするには、まだまだ時を要すると言わざるを得ない。そこで期待されているのが産学官民の連携、とりわけNPOと企業の協働である。NPO・企業ともに得意分野を活かしながら、それぞれの組織が持つ課題を協働により解決し新しい活力を生み出す為に、福島県のNPO支援センター「ふくしま地域活動団体サポートセンター」が相互のマッチングを実現させるべく、この事業を実施する。

### ＜NPOと企業とのマッチング事業の平成29年度の基本的な考え方＞

NPOと企業との協働マッチングについて今年度実施したアンケート調査や企業訪問等から、企業はCSRとしての社会貢献活動を積極的に実施したいと考えており、その選択肢の一つとしてNPOと協働することも可能であるとも考えていることがわかった。

しかし企業側にはNPOについての知識や情報が少なく、相対するNPOが信頼できる相手なのかどうか判断できず少なからず不安を感じている。またNPOは日々の活動において資金不足や人材不足等の問題を抱え、自団体単独ではその活動を充実・発展させられない状況にある。

そのようなNPOにとっては、多様な主体（企業等）との協働によって活動を推進させることがある程度必要となるが、賛同や協力・理解を得るために自分たちの活動を相手にわかりやすく伝えるのが非常に苦手であり、協働の意思はあるがなかなか積極的に企業等へアプローチできない場合が多い。

以上のような状況でNPOと企業との協働マッチングを進めるには、いきなり大きなプロジェクトの話をするのではなく、NPOの弱点（アプローチ力）を補いつつ、まずお互いをよく知るためのきっかけづくりとなる小さなプロジェクトから始めて少しずつ信頼関係を築いていくことが重要だと判断した。

したがって平成29年度は ①アプローチ講座 ②プレゼン講座 ③マッチング会を通して、企業のNPOに対する不安の払拭とNPOの企業へのアプローチ力強化を目標に、しっかりと両者を繋ぐパイプ役を務めながら小さなプロジェクトを少しでも多く実現して、お互いの信頼関係を築いていけるようこのマッチング事業を進めた。

## 2 実施スケジュール

本事業の内容については大きく分けて

- 【1】 事前アンケート調査の実施
- 【2】 NPOのアプローチ講座
- 【3】 NPOのプレゼン講座
- 【4】 NPOと企業との協働マッチング会
- 【5】 マッチング会後のアフターフォロー

の5つあり、その実施スケジュールは以下の通りである。

### 【1】 事前アンケート調査の実施

8月 1日(火)～ 9月29日(金) 福島県内NPO法人へのアンケート調査実施

8月 1日(火)～10月31日(火) 福島県内企業へのアンケート調査実施

### 【2】 NPOのアプローチ講座

10月23日(月) 会津稽古堂(研修室2.3) 13:00～16:00

10月24日(火) いわき産業創造館(会議室1) 13:00～16:00

10月25日(水) 福島市市民活動サポートセンター(会議室B) 13:00～16:00

### 【3】 NPOのプレゼン講座

11月17日(金) 福島市市民活動サポートセンター(会議室B) 13:00～16:00

11月20日(月) いわき産業創造館(セミナー室) 13:00～16:00

11月21日(火) 会津稽古堂(研修室5.6) 13:00～16:00

### 【4】 NPOと企業との協働マッチング会

11月28日(火) 会津稽古堂(研修室2.3) 13:00～16:00

11月29日(水) 福島市市民活動サポートセンター(会議室B) 13:00～16:00

12月 1日(金) いわき産業創造館(会議室1) 13:00～16:00

### 【5】 マッチング会後のアフターフォロー

12月 4日(月)～3月30日(金) ふくしま地域活動団体サポートセンターによるフォロー

### 3 事前アンケート調査について

マッチング事業を始めるにあたり、福島県内のNPO(約900団体)と企業(約3,000社)の双方に向けて、それぞれの協働について興味があるか等を問うための事前アンケートを実施した。その中で「協働に興味がある」と回答したNPOおよび企業に対して、次のアプローチをかけることとした。

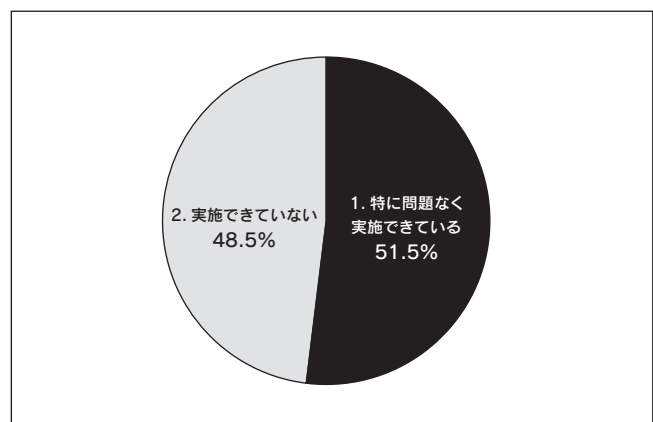
#### 平成29年度NPOと企業等のマッチング事業 事前アンケート 集計(NPO)

◆ 配布 計864団体(2017年8月9日時点)

◆ アンケート回答数 163(回収率18.9%)

1. 貴団体では現在、地域の社会課題解決に向けた事業がスムーズに実施されていますか。

|                  | 回答数 | %     |
|------------------|-----|-------|
| 1. 特に問題なく実施できている | 84  | 51.5  |
| 2. 実施できていない      | 79  | 48.5  |
| 計(無回答を除く)        | 163 | 100.0 |



#### <理由>(自由記述)

##### 【1. 特に問題なく実施できている】

- 補助金で事業をやっているため。
- 十分ではないが実施している。
- 国内の被災者支援なので、福島での活動が少なくなっているが、熊本や福岡水害の支援もしているため、今後も活動を続けてゆく。
- 人材不足等はあるが実施している。
- 協働というよりは協力に近い。
- 若年無業者の就労自立という地域の社会課題に対して協働している。より深化した形で協働できればと考えている。
- 特に問題なく実施できている。ただ、使用している物品が古くなり、入れ替えや修理が必要で、その費用の確保には苦慮している。
- 課題を抱えながら進んでいる。
- 日本の人口減少は将来最大の課題と言われ、その一助となるためにも独身男女の結婚を勧めることが重要だと考え、そのために尽くしたいと考えている。問題点は婚活を開催するNPOであるので広く広報することが必要であるが、参加者から入会金や年会費を徴収していないので、広告料の経費を支出することは困難である。
- 問題なくではないが実施している(実施したくてもできないこともある)。

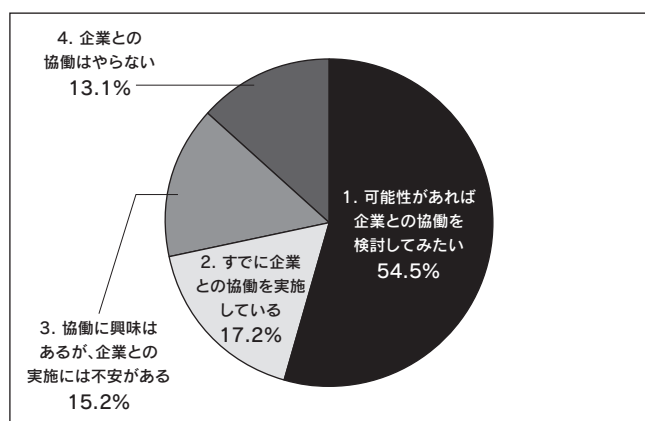
## 【2. 実施できていない】

- なかなか収入にむすびつかない。
- クラブの財政状況が深刻で、クラブを立て直す事が優先になっている。
- 協力はいただいているが、協働まではしていない。
- 開始途中。
- 集客に宣伝、広告の費用がかかり、現在紹介に頼っている。
- 会員不足のため。
- 地域内の高齢化のため。
- 企業の協力が無い。
- 資金・人材不足。
- ある程度はやっているが絶対的なパフォーマンス不足。
- ①原発事故で里山に入れない②資金不足③原発事故により避難して会員離散中である。
- 経験者の不足。
- 普及されにくい点が問題。
- 今年度、設立したばかりだから。
- 企業とのよい接点がない。
- 公的補助・助成等が一切無いため資金の確保に困窮している。
- 避難後、宮城県にて活動(内容を縮小していたため)。
- 現在の事業の体制・実務がまだ出来ていない。
- 社会課題とは何かという所の他の関係機関との温度差。
- 商品の販路拡大に向けて態勢が十分でない
- 役員の健康状態不良に依り休業状態。
- 新しい仕事が見いだせない。
- 指導者への謝金支給が未納である。
- 地域や他のNPO団体などとの連携、活動はできているが、企業との協働となると職員不足や利用者不足などがありできていない状況。
- マッチングする仕組みが無い。
- 学童クラブ及び障がい児者の余暇支援を行っている。子供達に様々な社会体験活動を提供したいと考えているが、移動手段が確保できない等の問題で活動の幅が広げられない。
- 平和博物館への理解が十分ではなく、出来る限りイベント等への参加を呼びかけている。
- 地元では協働できる企業が少ない。
- 産業廃棄物処理法が足かせとなっている。
- 資金不足、利用者不足。
- マッチング不足。
- 公共交通で行く健康ウォークを実施しているが交通費の負担が大きすぎる。
- 活動場所の確保が困難。
- 観光バスのルートに当事業所も入りたいと思っているが、どうすれば良いか方法も分からず実施できていない。
- 法人に対し収入がないためメリットがない。

- 社会課題解決の為に企業が無い為。
- 町内外の関係機関との連携が十分に図れていない。
- 活動の趣旨が違うため。
- 障がい者支援事業を行っているが、特性上できる仕事に限りがあるため。
- きっかけがつかめない。
- 自分たちの組織の理念や目標と企業のCSRによる社会貢献活動等とが合致するか否かが分からないことや、地域の課題を大きく捉えると人口問題として過疎化と少子化高齢化、風評被害、遊休地解消、インフラ整備、地域経済の疲弊、産業の低迷などが考えられ、当協議会のような小さい組織では解決できるものはほとんどなく、自分たちができる小さな取り組みを行っているのが精一杯。

2. 上記質問1で②と回答された方へ。実施できていない事業(活動)について、もし企業と協働することで、それが実現できそうな可能性があれば検討したいですか。(複数回答可)

|                            | 回答数 | %     |
|----------------------------|-----|-------|
| 1. 可能性があれば企業との協働を検討してみたい   | 54  | 54.5  |
| 2. すでに企業との協働を実施している        | 17  | 17.2  |
| 3. 協働に興味はあるが、企業との実施には不安がある | 15  | 15.2  |
| 4. 企業との協働はやらない             | 13  | 13.1  |
| 計 (無回答を除く)                 | 99  | 100.0 |



#### <理由> (自由記述)

##### 【1. 可能性があれば企業との協働を検討してみたい】

- 企業にバス・電車代を負担してもらい、多くのイベントを企画実施したい。
- 企業等との協働は考慮していた所であったが、一団体の申し入れのみでは中々厳しい状況ではないかと思案していたところである。

##### 【2. すでに企業との協働を実施している】

- ジョブ・トレーニングの受入れ、イベントの協賛・寄付etc. ボランティア、法人の会員登録。
- 企業の400m陸上トラックを無償で利用している。(1回 2h/週)
- 賛助会員として会費を支援・活動資金の一部を支えてもらっている。広報については、民報・民友、ザ・ウィークリー、福島リビング新聞社の4社に無料で広報してもらっているのを助かっている。

### 【3. 協働に興味はあるが、企業との実施には不安がある】

- マッチング事業の内容が明確ではないため不安。

### 【4. 企業との協働はやらない】

- 会員不足のため。
- 介護福祉関係の社会活動のため協働は難しい。
- 将来的にはあり得るかもしれないが、現状では考えていない。イメージしにくい。
- 友好交流との柱の中では企業としては負担が重荷となり持続性不可。
- 利害が共有できるのに時間がかかる。
- 当法人の事業の性質上(成年後見制度普及)協働はできないため。
- 実働的に難しいため。
- NPO組織団体がしっかりしていない状況のため。

### 【その他】

- 協働してはいるがさらに可能性を検討したい。
- 役員の高齢化等で運営が厳しく現在のところ休業状態である。また、資金調達も厳しい。企業との協働については、内容が明確ではなく不安である。

## 平成29年度NPOと企業等のマッチング事業 事前アンケート 集計(企業)

◆ 配布 計3,650

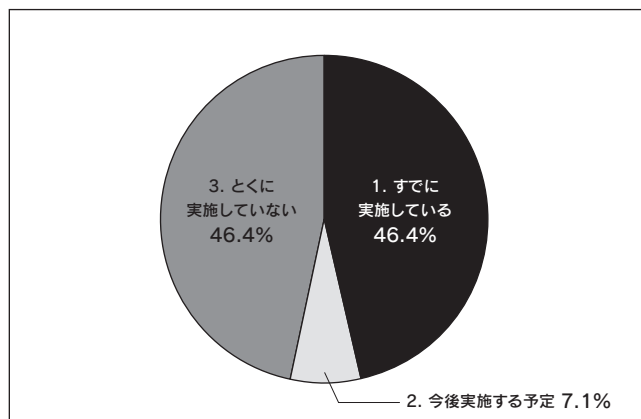
※県(500)

福島(150)会津(1,000)・いわき(1,000)・白河(1,000)は各商工会議所

◆ アンケート回答数 84(回収率2.3%)

1. 御社では、CSRとして社会貢献活動を実施していますか。

|               | 回答数 | %     |
|---------------|-----|-------|
| 1. すでに実施している  | 39  | 46.4  |
| 2. 今後実施する予定   | 6   | 7.1   |
| 3. とくに実施していない | 39  | 46.4  |
| 回答者数 (無回答を除く) | 84  | 100.0 |



### 自由記述

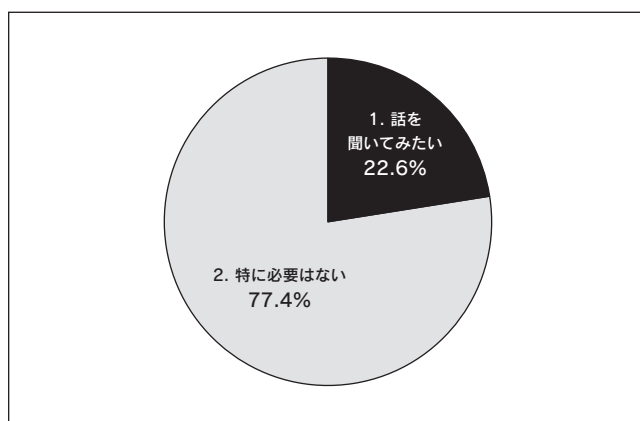
#### 【1. すでに実施している】

- 小学校や警察、交通安全協会などへの寄付行為。
- 全印工連CSRツースターの確認をもらっている。
- 10大イベント・助成金・機器運営・クリケットワークショップなど。
- 読み聞かせやメディアリテラシー、話し方講座など出前授業。猪苗代湖環境保護活動、小中学生のテレビ局見学、体験学習、フレンドシップコンサート等を実施。
- ふくしん「東北・夢の桜街道」児童絵画コンクールとふくしん「こども応援賞」。当金庫は未来志向を基幹とする上記2事業を地域の子供達支援の位置づけで実施している。なお、NPOについては『NPO等地域活性化ローン』と企業マッチングの観点からNPOと企業、NPOとNPO、NPOと市民のコーディネートも実施している。
- NPO法人いわき環境システムの理事として協働している。
- 工場見学の受入れ。
- ①建設業協会支部会員として毎年「猪苗代湖清掃作業」への参加 ②当社敷地(一ノ堰工業団地、R118線)外周の歩道等の清掃作業。
- 年2回の地域清掃活動、サンシャインマラソンボランティア参加、食育活動、地域のイベントへの参加(ふれ愛かしまさくら祭り・かしま福祉まつり)。
- 高校の合唱部やブラスバンド部の演奏会、会津大学のイベント等に広告協賛を行なう。地域の清掃やイベントには積極的に参加する。独自に社会貢献活動を企画はしていない。
- ①地域活性化の一環として提案型のLED水耕栽培プラントの開設②ビジネスマッチングによる販路拡大支援③観光招致活動④各種ボランティア。

- 広く実施しているわけではないが、日本財団学生ボランティアセンターを通して学生ボランティアへの支援を行っている。
- 森林整備ボランティア活動、湯ノ岳地区大掃除。
- 弊社は地方新聞社であるため、野球大会、ウォーキング大会、福島駅伝大会などのスポーツ事業や、書道展、文学賞などの文化事業など地域貢献活動を行っている。NPOや各団体に関しても紙面を通じて広報の支援などしている。
- 本社にてNPOとも協働中。

2. 機会があれば協働についてNPOの話を聞いてみたいですか。

|             | 回答数 | %     |
|-------------|-----|-------|
| 1. 話を聞いてみたい | 19  | 22.6  |
| 2. 特に必要はない  | 65  | 77.4  |
| 計（無回答を除く）   | 84  | 100.0 |



## 自由記述

### 【1. 話を聞いてみたい】

- 中心市街地活性化に活動しているNPO。
- 年度スケジュールで計画を立てて実施しているが、新たな活動を加えることも可能。
- 特定の活動としての定めはしていないので今後検討していく予定。

## 4 NPO 事前講座について

事前アンケートで「可能性があれば企業との協働を検討してみたい」「協働に興味はあるが企業との実施に不安がある」と回答したNPOに対して、協働事業の実現のための「NPOと企業とのマッチング会（お見合い会）」へ向けてNPO側の事前準備として

### 【1】NPOアプローチ講座【2】NPOプレゼン講座

を実施してNPOの「わかりやすい資料作成力」と「相手に確実に効果的に伝えるプレゼン力」を高めることを目的とした。

#### 【1】NPOのアプローチ講座

企業との協働を見据え、自分たちのことを的確に相手に伝えるために、自団体の活動紹介や企業と協働したい内容などを、A4一枚で簡潔にわかりやすくまとめるための講座。

○ 講師：遠藤智栄 氏（地域会社デザイン・ラボ代表 NPO/コミュニティ・アドバイザー）

会津会場 ■10/23(月) 会津稽古堂(研修室2.3) 13:00～16:00

いわき会場 ■10/24(火) いわき産業創造館(会議室1) 13:00～16:00

福島会場 ■10/25(水) 福島市市民活動サポートセンター(会議室B) 13:00～16:00

会津会場



いわき会場



福島会場



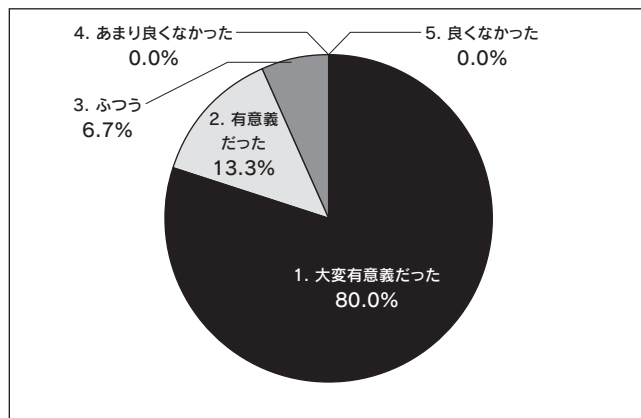
## 平成29年度NPOと企業等のマッチング事業「アプローチ講座」アンケート集計

◆ 受講者数 12団体17名

◆ アンケート回答者数 15名(回収率88.2%)

### 1.今日の講座を受講した感想はいかがですか？

|              | 回答数 | %     |
|--------------|-----|-------|
| 1. 大変有意義だった  | 12  | 80.0  |
| 2. 有意義だった    | 2   | 13.3  |
| 3. ふつう       | 1   | 6.7   |
| 4. あまり良くなかった | 0   | 0.0   |
| 5. 良くなかった    | 0   | 0.0   |
| 計（無回答を除く）    | 15  | 100.0 |



#### 【大変有意義だった】

- 何が重要か“示唆”いただいた。他のNPOのこまやかな活動を知ることができた。
- 気づきが多かった。
- あっという間の時間だった。改めて自団体・自事業のことを考えることで深めることができた。他団体のことも聞けて良かった。
- 企業とのマッチングをするために、当センターの活動をPRするための重要点などご指導いただきとても勉強になった。
- 専門用語やNPOと企業の関係性の現状等を知る事ができ大変有意義だった。
- 企業との協働についてはぼんやりとしか考えていなかったが、今日の講座を受けたことでいろいろな可能性が見えてきて良かった。
- マッチングシートの内容を考えるのが苦手だったので、マンツーマン指導をして頂けて良かった。自分以外の視点が学べた。
- 資金不足が心配。
- 具体的な内容で、改めて理解できた。

#### 【有意義だった】

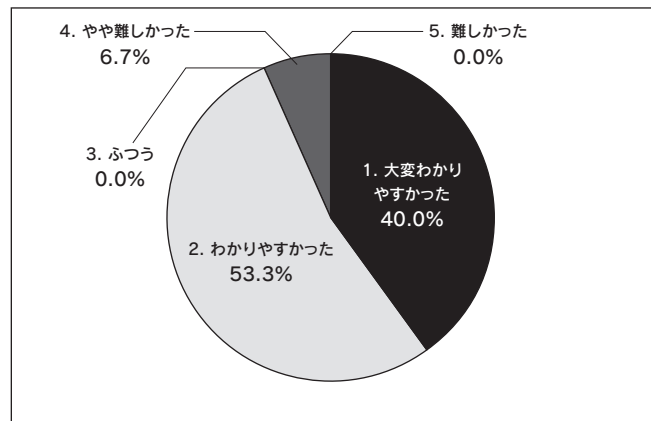
- どういうふうに応用していったら良いのか、自分の仕事に対してももっと理解度を深めなければという気持ちになった。
- 漠然としたものを整理できそう。

#### 【ふつう】

- こんなものかなぁ。

## 2. 講座内容やテキストはわかりやすかったですか？

|               | 回答数 | %     |
|---------------|-----|-------|
| 1. 大変わかりやすかった | 6   | 40.0  |
| 2. わかりやすかった   | 8   | 53.3  |
| 3. ふつう        | 0   | 0.0   |
| 4. やや難しかった    | 1   | 6.7   |
| 5. 難しかった      | 0   | 0.0   |
| 計（無回答を除く）     | 15  | 100.0 |



### 【大変わかりやすかった】

- よく理解できた。団体のことを中心に連携を考えてしまっていたので、課題を中心に企業のことをしっかり考えて次回にのぞみたいと思う。
- 「近年のキーワード」、聞いたことはあるけどよくわからないという言葉がわかり良かった。
- SDGsについて知ることができて良かった。このマークを使って自分の団体を表現してみたいと思った。
- 映像を使っの説明有難うございます。

### 【わかりやすかった】

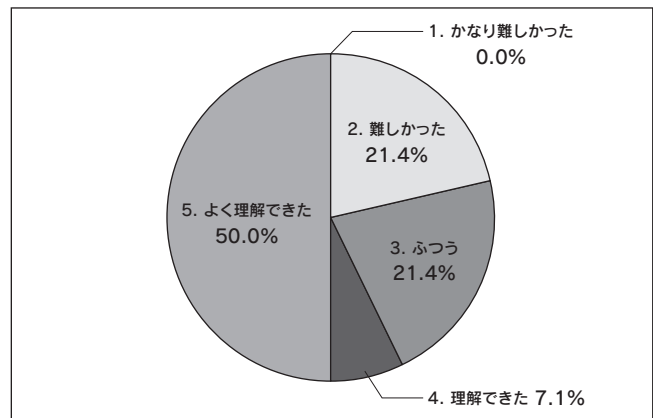
- 説明が良かった。
- 夢中だったのでゆっくり読ませて頂きます。
- とても解り易かった。客観的にやはり外側の第三者としての意見や思考が学べました。
- アピールの仕方について(わかりやすかった)。

### 【やや難しかった】

- 姿が見えづらかった。

3.本講座の理解度はどのくらいですか？

|             | 回答数 | %     |
|-------------|-----|-------|
| 1. かなり難しかった | 0   | 0.0   |
| 2. 難しかった    | 3   | 21.4  |
| 3. ふつう      | 3   | 21.4  |
| 4. 理解できた    | 1   | 7.1   |
| 5. よく理解できた  | 7   | 50.0  |
| 計（無回答を除く）   | 14  | 100.0 |



4.その他 何かありましたら記入をお願いいたします。

- これを機会にNPO同士の情報交換会をしたい→郡山に参加したい。
- 今日はありがとうございました。次回もまたよろしくをお願いいたします。
- 開始時間は13:30くらいからだ嬉しい。
- ごくろうさま。
- このような勉強会が常時あると大変有難い。

## 【2】NPOのプレゼン講座

企業との協働のためのマッチング(お見合い)の際に、【1】講座で作成した資料を基に企業に対して自団体を効果的にアピールするためのプレゼン法を学び、マッチング本番に向けて練習(リハーサル)する講座。

○ 講師: 遠藤智栄 氏(地域会社デザイン・ラボ代表 NPO/コミュニティ・アドバイザー)

福島会場 ■11/17(金) 福島市市民活動サポートセンター(会議室B) 13:00～16:00

いわき会場 ■11/20(月) いわき産業創造館(セミナー室) 13:00～16:00

会津会場 ■11/21(火) 会津稽古堂(研修室5.6) 13:00～16:00

福島会場



いわき会場



会津会場



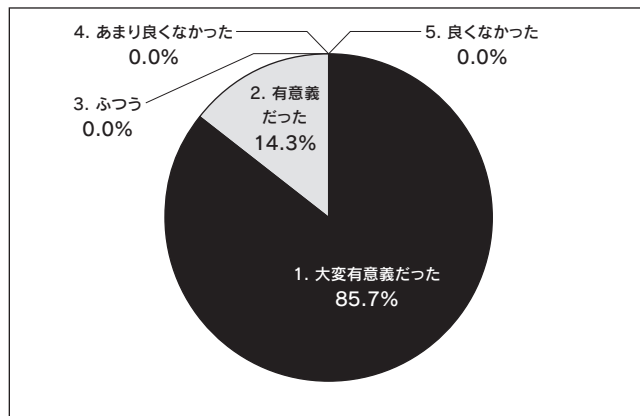
## 平成29年度NPOと企業等のマッチング事業「プレゼン講座」アンケート集計

◆ 受講者数 13団体22名

◆ アンケート回答者数 14名(回収率63.6%)

1.今日の講座を受講した感想はいかがですか？

|              | 回答数 | %     |
|--------------|-----|-------|
| 1. 大変有意義だった  | 12  | 85.7  |
| 2. 有意義だった    | 2   | 14.3  |
| 3. ふつう       | 0   | 0.0   |
| 4. あまり良くなかった | 0   | 0.0   |
| 5. 良くなかった    | 0   | 0.0   |
| 計（無回答を除く）    | 14  | 100.0 |



### 【大変有意義だった】

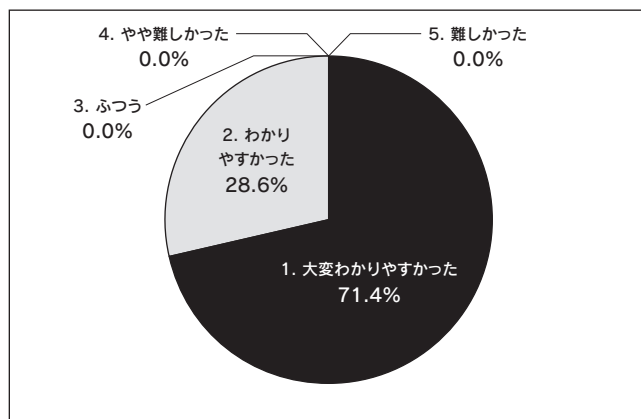
- 伝えるポイントや注意点が明確になっており、練習の必要性を感じた。
- 自団体の欠点・修正点がよくわかった。
- 人を見て自分達もどう話せば良いか分かり勉強になった。
- プレゼン時、何が重要かよくわかった。
- プレゼンテーションの難しさを実感した。発表の要点等スポットピーアール法を学んだ。
- 欠点/再考点が良くわかった。
- 資料をつくることができたのが私の一つの成果となった。詰め込みすぎるくせが分かり、そぎ落とす作業としてシンプルに伝えられる方法を勉強したい。
- 各団体の企業に対する協働について理解できた。
- パワーポイントのまとめ方、表現の仕方(がよくわかった)。
- 他団体のプレゼンを聞けたこと。自団体プレゼンに意見を頂けたので、修正点に気づくことができた。
- プレゼンの練習をしたことがなかったのがよかった。

### 【有意義だった】

- 交流が出来た。

## 2. 講座内容やテキストはわかりやすかったですか？

|               | 回答数 | %     |
|---------------|-----|-------|
| 1. 大変わかりやすかった | 10  | 71.4  |
| 2. わかりやすかった   | 4   | 28.6  |
| 3. ふつう        | 0   | 0.0   |
| 4. やや難しかった    | 0   | 0.0   |
| 5. 難しかった      | 0   | 0.0   |
| 計（無回答を除く）     | 14  | 100.0 |



### 【大変わかりやすかった】

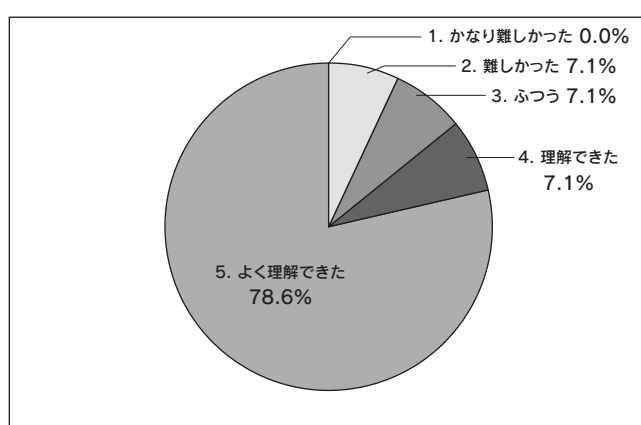
- ご指導頂いた専門講師の教え方が上手。主催者の助言はとても有効だった。
- 多くの意見が聞けた。
- 皆さんからのフィードバックをたくさん頂けたので勉強になった。
- みなさんからアドバイスいただけてよかった。

### 【わかりやすかった】

- ポイントが分かりやすかった。
- プレゼンの要点が分かり、とても良かった。

## 3. 本講座の理解度はどのくらいですか？

|             | 回答数 | %     |
|-------------|-----|-------|
| 1. かなり難しかった | 0   | 0.0   |
| 2. 難しかった    | 1   | 7.1   |
| 3. ふつう      | 1   | 7.1   |
| 4. 理解できた    | 1   | 7.1   |
| 5. よく理解できた  | 11  | 78.6  |
| 計（無回答を除く）   | 14  | 100.0 |



## 4. その他 何かありましたら記入をお願いいたします。

- 団体の活動を誰かに伝えるためにどんな表現方法があるのかを考えることが、今後会員さんを増やす広報活動にも活かせるのではないかと思います、とても勉強になっています。ありがとうございました。
- 異種なNPO法人との交流が良かった。
- これから資料をブラッシュアップし、練習して本番に臨みたい。ご指導ありがとうございました。
- 事前に練習してこなかったもので、練習の時間が欲しかった。

## 5 NPO と企業の協働マッチング会について

事前アンケートで「可能性があれば企業との協働を検討してみたい」「協働に興味はあるが企業との実施に不安がある」とご回答したNPOと、「社会貢献活動の一環としてNPOとの協働に興味がある」と回答した福島県内の企業に対して、NPOから企業へ協働事業に向けての提案をする機会を設け、福島県内3地域で「NPOと企業とのマッチング会（お見合い会）」として実施した。

各会場ごとに地元で「NPOとの協働」について興味がある企業に参加いただき、その前で【1】NPOアプローチ講座【2】NPOプレゼン講座で作成・修得した自団体の協働に関する企画提案をプレゼンする。その後、NPOと企業とで直接話ができる時間も設けた。

○ 総括：遠藤智栄 氏（地域会社デザイン・ラボ代表 NPO/コミュニティ・アドバイザー）

会津会場 ■11/28(火) 会津稽古堂(研修室2.3) 13:00～16:00

福島会場 ■11/29(水) 福島市市民活動サポートセンター(会議室B) 13:00～16:00

いわき会場 ■12/01(金) いわき産業創造館(会議室1) 13:00～16:00

会津会場



福島会場



いわき会場



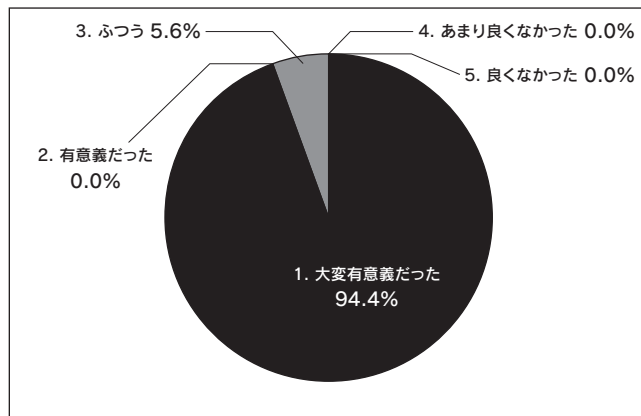
## 平成29年度NPOと企業等のマッチング事業「協働マッチング会」アンケート集計(NPO)

◆ 参加団体12団体 計20名 ※1団体が事情により欠席したため、参加12団体となった。

◆ アンケート回答者数 18名(回収率90.0%)

### 1.今日のマッチング会に参加した感想はいかがですか？

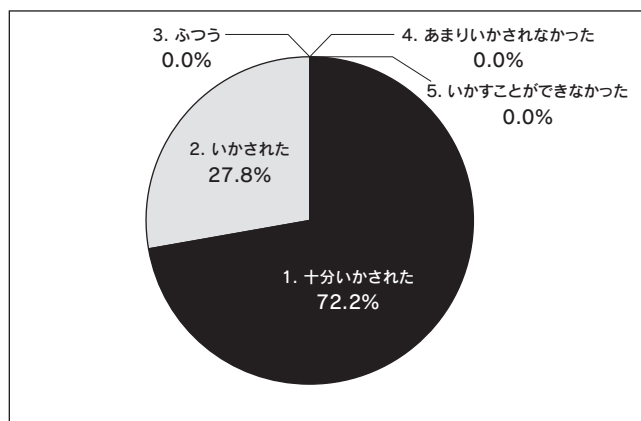
|              | 回答数 | %     |
|--------------|-----|-------|
| 1. 大変有意義だった  | 17  | 94.4  |
| 2. 有意義だった    | 0   | 0.0   |
| 3. ふつう       | 1   | 5.6   |
| 4. あまり良くなかった | 0   | 0.0   |
| 5. 良くなかった    | 0   | 0.0   |
| 計（無回答を除く）    | 18  | 100.0 |



- 異業種の方々のお話がとても興味深かった。それぞれの思いが十分に伝わっていた。
- 明確な協働までとはいかなくても、“つながり”を持つことができ、とても有意義だった。
- 直接企業様への提案ができ持ち帰り頂けた事、協働の可能性を多く感じとる事ができた。定期的な開催を望みます。
- 6社もの方々と話すことができた。実際に動きだせそうな案件もあった。
- 企業が何を求めているのか?がわかり参考になった。
- いろいろお話が聞けた。
- 企業と事業についてお話できて良かった。
- 各企業の考え方等について気楽に話し合いができた。
- よく話を聞けた。
- 各企業とぎつくばらんにお話しでき、今後の交流を約束した。
- 企業と意見交換ができた。
- 自分がNPO団体で何をしようとしているのかを客観的に見直すことができたのでよかった。
- 協働の意義についても学べたし、活動をどうアピールしていくかも順序立てて理解できた。まだまだスタートなのだと実感し、色々な場で積極的に発信していければと思う。
- 直接企業の方とお話ができ、今後につながる第一歩となった。
- 今後自主的に行動する場合プロセスが分かり有意義だった。
- データを他地区などの参加可能企業にも伝えてほしい。
- 新たな企業と出会えた。
- 各企業の皆様が抱えている問題をうかがえ、私共のエンタメによって若者たちに勇気・元気・やる気をプレゼン出来る余地があると感じた。

## 2.アプローチ講座やプレゼン講座で学んだことは今回のマッチング会でいかされましたか？

|                 | 回答数 | %     |
|-----------------|-----|-------|
| 1. 十分いかされた      | 13  | 72.2  |
| 2. いかされた        | 5   | 27.8  |
| 3. ふつう          | 0   | 0.0   |
| 4. あまりいかされなかった  | 0   | 0.0   |
| 5. いかすことができなかった | 0   | 0.0   |
| 計（無回答を除く）       | 18  | 100.0 |



- 体の角度・目線いろいろな面で参考になった。ただ声が大きすぎただけではいけないということ、又、内容も明確さ色も必要ということが解かった。
- プレゼンをすることが初めてだったが、講座を受講しとても勉強になり、よい経験ができた。
- 講座での学びで仕上げる事が出来、プレゼン講座は継続して頂きたいと思う。
- 講座でしっかり学んで本番を迎えることができたので、内容もブラッシュアップすることができた。
- わかりやすく 心にひびくように伝えるやり方を教えていただいた。
- まとめ方がわかった。
- とても勉強になった。
- 時間内でのアプローチが勉強になった。
- とりあえず講演に来ていただける様がんばります。
- プレゼンの内容はともかく、時間内に終わらせたことは練習のたまもの。
- 情報量を減らすことや具体的な数字が必要等、今回に限らず今後も必要になってくると思うので、いつでもプレゼンできるように続けていきたいと思う
- いろいろアドバイスをいただいて、自分たちなりに活動をお伝えできたかなと思った。
- 団体のことを再確認する機会となり、伝えたいことを整理して話すことができたと思う。
- プレゼン内容の整理が出来、マッチング会ではスムーズに相談出来た。
- プレゼン資料づくりにはいかされた。ただし、作成の仕方がよくわからず、一歩深めた内容の指導がほしい。  
参加NPO法人は少なかったのだから。
- プレゼン方法について学べた。
- 何度もリハーサルをして下さったので、テンポ良く進行が出来たと思う。

3.その他 何かありましたら記入をお願いいたします。

- 思うようにプレゼンできなかったが、自分の思いを少しでも伝えられたかなと思う。
- 企業だけでなく、一緒に参加したNPO団体ともつながりを持つことができ、今後の活動にいかしていければ良いと感じた。
- 講座内容が今後にも生かせる内容で非常に学びが深く、ぜひ次年度も受けたい。ありがとうございました。今回いいご縁をいただいたので、協働へむけてがんばりたい。
- この企画は大変ありがたい。今後も参加したい。
- 私の一番の苦手な作業だったが、3回連続で丁寧な指導があり、実際に企業の方を前に発表するところまで行えたことは自信につながった。ありがとうございます。
- 他の法人の方の発表も大変参考になったので、機会がありましたら他地域での発表も聞いて学びたいと思う。
- 参加数は少なかったが、かえって一人一人ときちんと話すことができてよかったと思う。今回できたつながりを大切に、実際に協働がカタチになるようにしていきたい。お世話になりました。
- 地元企業を中心にアプローチしようと思う。サポセンよりも喜多方市内の企業に「協働マッチング会」のPRをお願いします。
- 1回きりで成立するかわからないのだから、試みに終わらず今後のフォローを願う。
- 福島銀行の鈴木支店長の紹介で本店の井上課長と話が進み、また、サポートセンターのご助力で色々と広がりそうです。

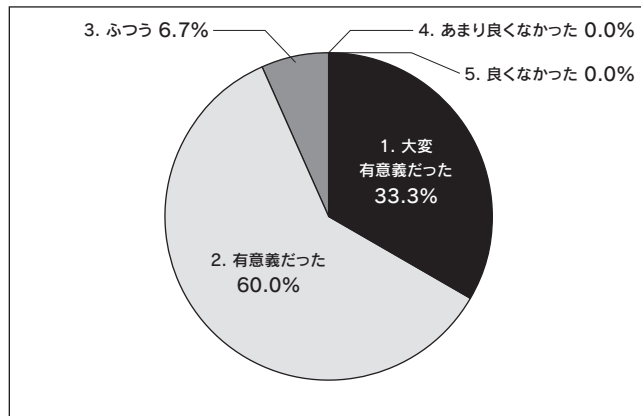
## 平成29年度NPOと企業等のマッチング事業「協働マッチング会」アンケート集計(企業)

◆ 参加企業12企業 計17名

◆ アンケート回答者数 16名(回収率94.1%)

### 1.今日のマッチング会に参加した感想はいかがですか？

|              | 回答数 | %     |
|--------------|-----|-------|
| 1. 大変有意義だった  | 5   | 33.3  |
| 2. 有意義だった    | 9   | 60.0  |
| 3. ふつう       | 1   | 6.7   |
| 4. あまり良くなかった | 0   | 0.0   |
| 5. 良くなかった    | 0   | 0.0   |
| 計 (無回答を除く)   | 15  | 100.0 |



#### 【大変有意義だった】

- 各企業さんの事業内容をよく知ることができた。人脈を創ることができた。
- 各団体の活動についての詳細と、自らの企業との接点を考えることができた。
- CSR活動のヒントとなる情報をいただき、大いに勉強になった。
- 色々な活動をしているNPOを知る事ができた。
- 今回のマッチング会でNPO法人との具体的な「協働」までは思い浮かべることはできなかったものの、各NPO法人の事業内容はよく理解することができた。「協働」には当たらないかもしれないが、各NPO法人が営む各イベントポスターの掲示協力や逆に公庫が行うイベントポスター・チラシ掲示については、互いに協力することができると感じたため、良い機会であった。

#### 【有意義だった】

- 当事業以外の情報を収集することができ、社会的課題に係る視野が広がった。
- 活動の内容や課題が良く理解できた。
- いろいろな社会貢献を知った。
- NPO法人を知ることができた。
- 会社としてCSRを進める中、何をしてよいかアイディアがなかったが、今回参加して方向性がみえた。
- プレゼンが分かりやすくすばらしかった。
- 協働マッチングに初めての参加で新鮮だった。
- 考えや今後についてそれぞれの意見を聞くことができたため。

2.興味のある団体はありましたか? (複数団体可)

| 興味のある団体名                    | 興味のある内容等                                                                              |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ビーンズふくしま                    | 相対的に子会社各社で人員不足が生じており、就労サポートとのWIN-WINの可能性を感じた。                                         |
| ふくしまバリアフリースペースセンター          | 高齢者を対象とした葬祭事業、介護事業、互助会事業において、顧客の利便性向上に通じる考え方があり、大いに参考となった。                            |
| 循環型社会推進センター/<br>体験型未来づくりネット | 高齢者の日常生活支援及び終末期サポート等において、当社事業につながる可能性を感じた。                                            |
| 全団体                         | それぞれが素敵な活動を信念をもってなされているので、どの団体さんも興味を持った。銀行としてどんなお手伝いができるか、どんな協働ができるか考えながら地域貢献をしていきたい。 |
| 全団体                         | 自らの局の番組制作に役立ちそうであるから。                                                                 |
| 全団体                         | それぞれの活動に興味を持った。特に社内の研修や職場体験面でご協力できる事はないかという点でお話したので、今後の弊社の活動のヒントにしたい。                 |
| 無し                          | 協働したいと考えていた団体(まちづくりや中心市街地/地域活性化に取り組む団体)が今回は残念ながら参加されていなかった。                           |
| スターキャスト                     | いわきに需要がないため。                                                                          |
| いわき鳴き砂を守る会                  | 身近な所で活動していることを知ることができた。また、砂絵等の活動を知れた。                                                 |
| いわき鳴き砂を守る会/<br>小野自然倶楽部      | 10大イベントで検討                                                                            |
| いわき鳴き砂を守る会                  | 自社の得意分野と鳴き砂の活動内容の一部が一致していたため。                                                         |
| 全団体                         | お互いにPR不足感があつた。当グループは、ショップや施設が多いため、チラシなど置くことを提案した。                                     |
| 小野自然倶楽部                     | 会社としても利用者になれると思った。                                                                    |
| 全団体                         | それぞれお話を聞かせていただき、参考になった。各NPOさんそれぞれに努力をされており、これからがんばってもらいたいと感じた。                        |
| 裏磐梯エコツーリズム協会                | 今ある資源を大切にしたい。弊社の「くるりんこミュージアム」にて、小・中学生にアピールする場を提供したい。                                  |
| 喜多方市民活動サポートネットワーク           | 公庫で行うNPO法人含むソーシャルビジネスセミナーの周知活動(チラシ配布等)で協力できそうのため。                                     |
| 裏磐梯エコツーリズム協会                | NPO法人が行うイベントポスターを公庫のロビー展示等で周知協力できそうのため。                                               |
| 裏磐梯エコツーリズム協会                | 自分が担当で行っている業務に最も近かったため/情報交換を今後も続けていけると考えたため。                                          |
| 喜多方市民活動サポートネットワーク           | 喜多方のNPOをまとめている団体でありイベントだけではなく助成金の案内等もできるため。                                           |

3.その他 何かありましたら記入をお願い致します。

●このような機会を頂き、ありがとうございました。

●各団体とより有意義なお付き合いをしていきたい。今後ともよろしくお願い致します。

●質問2の回答の様な団体※と話ができるのであれば、今後も参加したい。

※まちづくりや中心市街地/地域活性化に取り組む団体

●事前に活動内容を知りたい。

●今後も続けていただきたい。

●具体的に何を求めているのか、単刀直入にお願いしたい。連携したいのか、周知したいのかよくわからない。個別での話の中である程度わかってきたが、もっとアピールしてほしい。

## 6 マッチング会における参加 NPO プレゼン資料

本事業の流れとして

- ①「NPOアプローチ講座」にてプレゼン資料作成
- ②「NPOプレゼン講座」にて企業へのプレゼンのための手法の取得および練習・リハーサルを行う
- ③「NPOと企業との協働マッチング会」にてNPOから企業へ向けて実際に協働に関するプレゼンを行うと進めたが、その際に使用した参加NPOのプレゼン資料を以下に示す。

### 参加NPO13団体

- 01 ■特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ
- 02 ■特定非営利活動法人 循環型社会推進センター
- 03 ■特定非営利活動法人 体験型未来づくりネット
- 04 ■特定非営利活動法人 ビーンズふくしま
- 05 ■特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリースペースセンター
- 06 ■南相馬市市民活動サポートセンター
- 07 ■NPO法人 会津の文化づくり
- 08 ■NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会
- 09 ■NPO法人 喜多方市民活動サポートネットワーク
- 10 ■NPO法人 いわき鳴き砂を守る会
- 11 ■NPO法人 小野自然倶楽部
- 12 ■NPO法人 劇団スターキャスト
- 13 ■NPO法人 マグノリアの灯

## 01 特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ

- 団体名：特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ
- 所在地：960-0201 福島県福島市飯坂町字湯沢26番地
- TEL：024-529-6125
- FAX：024-529-6126
- E-mail：info@iizakasupporters.com
- URL：http://iizakasupporters.com/

以下は11月29日（水）福島会場でのプレゼン資料です



発表者：金沢 次郎



### ～～～設立のきっかけ～～～

- 飯坂町では、高度成長期をピークに観光客が半減、町内には経営不振や後継者不足などの要因で廃業した旅館、商店が点在。
- 10数年前から住民と行政が協働で、和風を基調とした美しい街並み整備や、住民主体によるイベント開催など、街づくりの機運が高まる。

### ～～～団体の目的～～～

- 地域資源を後世に、守り伝えると共に、新たな地域の特性を生かした観光産業の調査・研究、企画、普及、啓発。
- 観光客や地元住民によるコミュニティ空間の形成。
- 飯坂町の持続的な発展に尽力する人材の育成。



## 私たちの思い、考え

### ▶ 地域の課題

- ◆ 飯坂温泉へ集客。
- ◆ 東京オリンピック、パラリンピックも踏まえて、インバウンド対策。
- ◆ 観光客のニーズ合わせたアクティビティ及び、飯坂温泉街で観光客や市民が楽しめる空間の開発及び提供。



### ★ 目指す地域の姿

～～～観光客も市民も誰もが、  
住んで歩いて楽しい街～～～



## 活動紹介

- まちづくりの推進を図る活動
  - 冒険あそび場運営事業
    - ・子どもの屋外での自由遊び場の設置、運営
  - 心も体も元気で過ごすための支援事業
    - ・飯坂復興公営住宅での健康サロン活動
    - ・復興公営住宅での冒険遊び場事業
- 観光の振興を図る事業
  - 摺上川ダム湖でのカヤックツアー
  - 茂庭広瀬公園でのバーベキュー
  - 摺上川ダムを活用した観光誘客
- まちづくりに関する連携事業
  - ★飯坂地域まちづくり計画推進懇談会参画
  - ★福島市民活動サポートセンター運営協議会加盟
  - ★福島市レクリエーション協会加盟
  - ★子どもが自然で遊び楽ネット加盟
- 学術、文化、芸術、スポーツにて振興を図る活動
  - 第2回 茂庭湖TTレース
    - ・茂庭湖ラインでの自転車タイムレース
  - 第4回 夏モニカツ（今年度より実行委員会）
    - ・茂庭広瀬公園での子どもの自由遊び、クラフトワークショップやライブ、摺上川ダム環境での打上花火を行う夏のフェスティバル
  - SUPヨガ体験 in 飯坂温泉
    - ・スタンドアップパドルボードで行うヨガの開催
  - 第10回 湯のまち飯坂・茂庭湖マラソン
    - ・摺上川ダム周辺にてフルマラソン大会の事務局
  - ふくしま手織りフォーラム
    - ・福島市教育委員会と共に茂庭のしなだ織を含めた福島市の手織り文化の体系化と文化財登録を目標プロジェクト参画。
- 地域の魅力を普及拡大する為の宣伝事業
  - モンベルフェア
    - ・福島市観光課が参加する（株）モンベルのアウトドアフェスティバルに参加
  - 東北ビジネスマッチ2017
    - ・東北地域の行政、企業、法人等が参加するビジネスマッチ
- 目的を満たすためのその他の事業
  - ★平成29年度チャレンジインターンシップ/福島県
    - ・大学生インターンを夏季期間中に1週間程度受入



## 地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化



カヤックツアー & バーベキュー

・福島市内で手軽に体験できる、新たなアウトドアレクリエーションとして観光客や市民の皆様にも、自然を満喫しながら楽しんでいただいております。



夏モニカツ

・開催を重ねるごとに、参加者が増え、次年度の開催を望まれている。  
・参加していない市民の方々からも、参加したいイベントと期待されてきた。



冒険ひろば

・学童クラブの指導員さんから、冒険ひろばに参加したら、指導員さんが、子ども達に対して怒ることや大声をあげる回数が減った。また、子ども達のなかでも自発性が出てきたなどの、変容がみられたと言った、ご意見を頂いております。



心も体も元気で過ごすための支援

★復興住宅の皆さん  
・毎回、楽しい活動を行って来て助かっている。  
・自分たちでは、開催する事が、難しいので引きこもり防止にも、繋がるので助かっている。  
★復興住宅の町役場や社協  
・復興住宅で支援している団体として、評価していただいております。



## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み困っていること

- ◆活動情報の発信力不足  
イベントやアクティビティ等の活動についての情報の発信力が弱い。
- ◆人材不足  
事務及び各事業にてスタッフ不足。
- ◆新たな事業の取り組み  
観光客や市民が集まれる、コミュニティ作りのための調査、企画、立案、運用について。

### 企業と協働したいことサポートしてほしいこと

- ★活動情報の発信にサポート
  - ・インターネットやSNSの活用
  - ・指導や人材派遣
  - ・法人の活動情報をメディア（雑誌、新聞、テレビ等）での掲載及びコラボ企画への支援
- ★人材及び新たな事業の取り組み  
飯坂温泉にて、観光客や市民が楽しめる空間を一緒に、調査、企画、立案、運用を行う。

## 企業に向けてメッセージ

観光客も市民も誰もが、住んで歩いて楽しい街づくりを目指して、2008年より飯坂町民をはじめ、旅館、観光協会、商工会や関係各所と共に活動してきました。

少しずつですが、当法人の活動も認知されて各イベントや、摺上川ダム（茂庭湖ダム）での新たなアクティビティ、カヤックツアーを楽しんでいただいております。

来年度は、10年目にはいる当法人において、さらなる飛躍をはかる年と位置付けて、企業の皆様と共に新たな視点からの取り組みを行うことで飯坂町（飯坂温泉）に賑わいを取り戻したいと思っております。そのためにも、私達には、無いアイデアやマンパワーを企業の皆様と共有できれば、より良い地域を育むことで円滑な社会になると信じておりますので、企業の皆様には、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

## 02 特定非営利活動法人 循環型社会推進センター

- 団体名: 特定非営利活動法人 循環型社会推進センター
- 所在地: 〒960-8061 福島市五月町4番25号  
福島県建設センター6階
- TEL: 024-524-2500
- FAX: 024-524-2450
- E-mail: qqou8ww9k@mist.ocn.ne.jp
- URL: <http://npo-junkan.jp/>

以下は11月29日(水)福島会場でプレゼン資料です

### 特定非営利活動法人循環型社会推進センター ちいきの茶の間“ふるさと”



発表者: 飛田祐子/渡辺仁美

1

#### ●設立のきっかけ

高齢化に伴い介護が必要な高齢者や、介護する家族に対して、主婦の小さな力で何か手助けができないか...  
「おたがいさま」の助け合いができる地域づくりを目指し立ち上げたのがきっかけです。

#### ●団体の目的

蓬萊地域にお住まいの高齢者を対象とし、自立した生活が出来るようにするための手助けや、介護保険適用外のサービスを提供することで地域福祉の向上を目的としています。



2

### 私たちの思い、考え

#### ■地域の課題

～蓬萊団地において～  
・高齢化により自立した生活が出来ない

例えば...  
・一人で病院に行けない  
・一人で買い物が出来ない  
・家事が出来ない

#### ●目指す地域の姿

地域で情報の共有化  
孤独死が数多く報じられている中で、  
孤独死を防ぐため地域包括センター・民生委員と連携を図り、身近で気軽にサービスを提供できる場所を作りたい。  
困った時、身近で助け合いができる地域社会を目指していきたい。

3

## 活動紹介

- ・病院送迎
- ・配食サービス  
※毎日の配食により利用者の様子を確認している
- ・デイサービス
- ・サロン開設(手芸教室・健康麻雀)
- ・子育て支援
- ・イベント(BBQ・クリスマス等)
- ・フリーマーケット
- ・家事手伝い
- ・庭木の手入れ



4

## 地域、住民、ボランティア 参加者の反応や変化

- ・ボランティアスタッフの声  
主婦の集まりが、ご近所の困っている方へ  
よりよいサービス提供が出来るよう  
勉強しながら経験を重ね、親身に対応している。



- ・利用者の声  
身近に家族がいないため、何かと困った時はふるさとに連絡できても安心。  
自宅で一人の時間が多く ふるさとに來れば利用者、スタッフと会話ができてとても楽しみ。

手芸教室  
健康麻雀  
の様子



年に数回  
イベントを開催



5

## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み 困っていること

- (1) 人材不足
  - ・病院送迎時(受診付添)
- (2) 設備が不十分／食材の経費
  - ・手摺り、すべり止め
  - ・低価格でまとめ買いた食材の保管

### 企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- (1) ボランティア参加への周知
- (2) 設備や材料の協力
  - ・不要になった介護用品など・・・
  - ・大量生産や賞味期限が近く廃棄となる  
食材の提供など・・・
- (3) 広報協力
  - ・パンフレット広報協力、手芸品販売協力  
※海外へ贈答した布ぞうり  
(古着の再利用)



6

## 企業に向けてメッセージ

地域福祉の向上を目的に、主婦の集まりからスタートし、12年かけてようやく「困った時は“ふるさと”に助けてもらおう!」と、知名度も上がり、地域の方々から信頼していただけるようになりました。福島市内でこのような活動をしているのは“ふるさと”だけです。今後介護保険制度改正によりふるさとの活動がより人々の役に立てることと存じます。活動内容に賛同していただける企業様と、まずは繋がりを持たせていただき、将来的に協働事業として、より暮らしやすい地域社会を共に目指していきたいと考えております。企業の皆様には活動へのご理解とそそご協力をお願いいたします。

7

## 03 特定非営利活動法人 体験型未来づくりネット

- 団体名: 特定非営利活動法人 体験型未来づくりネット
- 所在地: 〒960-8133 福島県福島市桜木町2-12  
フィオーレ桜5-701
- TEL/FAX: 024-533-8180
- E-mail: miraizukuri@mirror.ocn.ne.jp
- URL: <https://miraizukuri.jimdo.com/>

以下は11月29日(水)福島会場のプレゼン資料です



### ●設立のきっかけ

東日本大震災  
未曾有の大震災のあの日から絶望の淵に  
立たされた孤独な心が呻き苦しんだ1年間、  
誰の心にも新しい想いの命が芽生えたは  
ず、誰もが手を差し伸べあい支え合い活  
きる事を望んだ、忘れない命の尊さを！誰も  
限りある命幸せで有って欲しいと願うばかり。  
これ以上の犠牲が有ってはならないと、  
心に深く刻み支援活動を立ち上げました。



### ●団体の目的

誰もが幸せな人生を送る為の支援  
1、生活総合支援  
2、相談と解決  
3、常設の相談所・宿泊型施設運営  
4、自立支援を目的とする。



### 活動紹介 【生活再建相談】自立支援型

シェアハウス  
オープン・ハート湯野



高齢者・介護2世同居可能  
訪問介護制度摘要  
・身寄りがない  
・ひとり暮らしが不安  
・仕事のおあずかり

緊急こども預り 相談業務  
自立支援型



生活再建相談・支援  
支援 ・住居確保  
・生活支援  
・身元保証  
・就労支援  
管理 ・金銭管理  
・財産管理  
・終末相談

シェルターハウス  
オープン・ハート瀬上



18歳～60代迄同居支援

緊急一時こども預り

・父母の入退院時  
・父母の精神疾患時  
・およぼれの日  
・美容室や買い物時  
・休日なのに仕事が終わらないとき等



生活再建相談業務や講演会を大和田新氏と供に郡山・福島・伊達・須賀川にて開催  
国土交通省平成28年度冊子に掲載されました。

## 地域、住民、ボランティア 参加者の反応や変化

### 相談者から支援する立場へ



### 相談者の自立活動支援

- ・各地相談会開催時の活動
- ・シェアハウスでの配食支援
- ・資格取得でシェアハウス入居者の介護支援を実施自立を果たす
- ・パソコン指導

### 避難者から支援者へ 命の募金参加



## 私たちの思い・考え

### ▶地域の課題

子育て・介護重複期  
30代～50代の  
介護離職をサポート

課題1 軽度介護者の介護施設の不足

課題2 子育て期と介護期の重複する  
若者世代の、介護離職

課題3 共働き世代の放課後又は一時  
こども預り重要な課題である。

### ●目指す地域の姿

課題1 小規模複合施設の地域開設  
シェアハウス・シェルターハウス



課題2 家族単位から地域単位の支援  
みまもり地元のシニア起用を目指す

課題3 50代からアクティブシニア  
地域ごとにボランティア人員の養成  
子育て介護重複世帯を支援



## 協働に向けて

活動・組織での悩み  
困っていること



### 企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- ・ 困っていること
- ・ 現存の施設の整備が必要
- ・ 国土交通省の「セーフティネット法」に基づく活動だが予算化が進んでいない事や要配慮者支援のため運営資金の確保
- ・ ボランティアや協力者が少ない



- ・ 企業と協働したいこと
- ・ 入居者30名程度の施設として利用できる**会社の寮や官舎等使用していない施設の提供**を求めています。
- ・ **企業職員様ご家族の専用施設**協働運営
- ・ 弁護士・司法書士・不動産・葬儀社との協働
- ・ 将来新施設建設と協働運営

## 企業に向けてメッセージ

少子高齢化時代背景

一厚生労働省一

介護離職による生産性GDPの低下防御を施策

一国土交通省一

「セーフティネット法」に基づく住居の安定供給・要配慮者支援

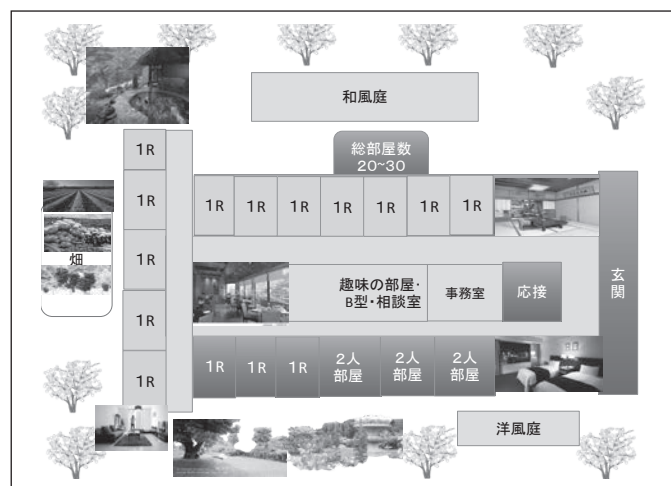
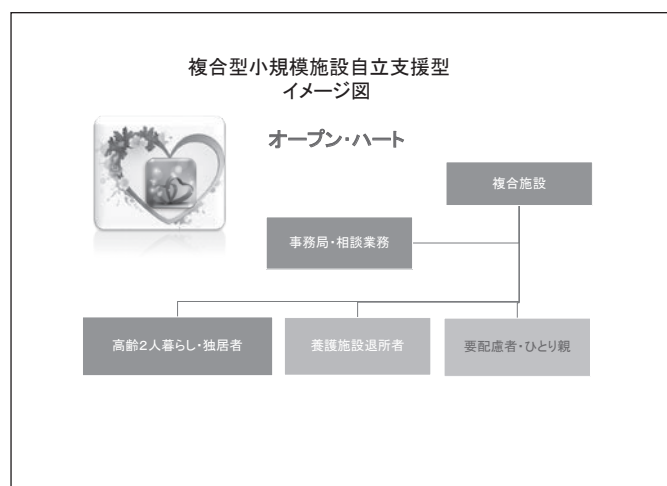
- 1、今後企業が直面する課題 ⇒ 介護離職の課題
  - 2、介護離職者の介護終了後の再就労、将来の生活圧迫への懸念
  - 3、安心して働ける職場環境づくりが整う
- 【企業様専属のシェアハウス開設】  
既存施設入居は数年待ち**変わる重要な施設**

企業と供に地域に生きる

NPO法人体験型未来づくりネット

地域貢献

〒960-8133 福島市桜木町2-12フィオーレ桜5-701  
TEL:0120-860-917 Email:mirai\_0987@yahoo.co.jp  
URL:https://mirai-zukuri.jimdo.com/  
URL:http://miraizukuri.jimdo.com/



多くの課題解決複合型施設

複合施設の建設で解決できること

企業

- ・ 安心して働ける職場環境づくり(企業専門施設)
- ・ 介護離職の課題解決(GDP減少抑制)

地域

- ・ 「ちいきの我が家オープンハート」  
地域ぐるみのコミュニティサロン展開  
子育て支援・独居孤立・孤独死防止強化  
高齢化に伴う障がい・障がい者B型就労支援

## 04 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

■団体名: 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま  
■所在地: 〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5  
■TEL/FAX: 024-563-6255  
■E-mail: info@beans-fukushima.or.jp  
■URL: <http://www.beans-fukushima.or.jp/>

以下は11月29日(水)福島会場でのプレゼン資料です



特定非営利活動法人  
ビーンズふくしま

平成29年11月29日  
江藤 大裕(えとうだいすけ)



### ●設立のきっかけ

学校に行けない、学校に行きにくさを抱えた子どもたちのフリースクールから始まりました。学校に行けないというだけで、自信を無くした子どもたちにとって、ありのままの自分を認めてもらえる、「自分は大切な存在なんだ」という「自己肯定感」を育むことができる「安心できる居場所」が必要でした。ビーンズふくしまは、子どもたちが本来持っている「生きる力」を取り戻すことができる、そんな場所としてスタートしました。

### ●団体の目的

当法人は、不登校の子どもやひきこもりの青少年の親、市民、学生など広範な人々と協同して、不登校の子どもたちやひきこもりの青少年たちのために、その生き方と学習を支援するとともに、広く青少年が自分らしく生きるための支援を行い、それをもって社会の創造に貢献することを目的とする。



## 私たちの思い、考え

### □地域の課題

- ・ 福島県の若年無業者(15歳～34歳)数  
1万人/38万人 2.6%
- ・ 不登校・貧困・震災など様々な社会背景を抱えた子ども・若者にとって支援の手が届きにくい現状があり、スムーズに地域社会と繋がっているといえる状況ではない。

### ○目指す地域の姿

- ・ 子ども×若者×高齢者×NPO×企業×行政
- ・ すべてが繋がりがいい若者たちの力を中心とし、彼らの力が地域でいかされる社会を創りたい。

## 活動紹介

- フリースクールビーンズふくしま  
当法人の始まりである主に不登校の子どもたちを対象にした居場所
- うつくしまふくしま未来応援プロジェクト、貧困対策事業  
震災後の仮設住宅の学習支援や生活保護世帯の学習支援
- 「みんなの家@ふくしま」  
福島の子を中心に、若者、地域の大人が集う多世代交流拠点
- ユースプレイスinふくしま  
引きこもりや対人不安など様々な生きづらさを抱えた若者が交流やボランティア活動を主体的に取り組むことが出来る場
- ふくしま若者サポートステーション  
若者の働きたいを応援する就労のサポート機関

今回、企業様と特に協働を希望するのは上記2事業



## 活動紹介



花植えボランティア作業



保育園お祭りボランティア



自分たちで収穫した野菜を使用したカフェの開催



リンゴ収穫体験



猪苗代湖清掃活動

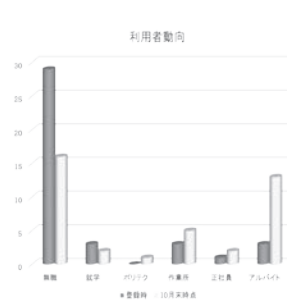


ビーンズ畑での畑作業

## 活動状況【ユースプレイスinふくしま】

|        | 平成28年度 | 平成29年度           | 増減    |
|--------|--------|------------------|-------|
| 参加人数   | 410名   | 667名             | +257名 |
| 回数     | 89回    | 104回             | +15回  |
| 平均参加人数 | 4.6名   | 6.4名             | +1.8名 |
| 登録者数   | 33名    | 39名              | +6名   |
|        |        | うち継続24名<br>新規15名 |       |

## 活動後の変化



### ◇利用者の感想

- ・楽しい1年になった
- ・スタッフ・若者たちのやさしさがここにはある
- ・やりたいように1年を過ごせた
- ・みんなの明るさ、元気の良さで自分も引き込まれた
- ・皆さんと出会えてよかった
- ・遊びに疑問を持たずに遊びつくせた
- ・就活だけでなく楽しむことができた

### ◇利用者の今後の目標

- ・アルバイトや就職がしたい
- ・（参加者自身による）自主的活動を充実させたい
- ・いろんなことに挑戦したい
- ・学校に通いたい
- ・ゆっくりと外でできることを増やしていきたい

## 活動後の変化

参加者の多くは引きこもりや不登校、様々な困難や挫折を経験し一歩踏み出したいと思いつつ、他者との交流がない関係性の孤立に悩んでいる状況が多い。そんな彼らにとってユースプレイスという場があることで外に出る“きっかけ”となり、そして他者との経験・体験を紡いでいくこととなった。

様々な背景を持つ若者たちがまずは自分らしくいられる居場所に集い、自己肯定感を育み、そこから少しずつ自分なりの一歩を踏み出し始めた。コミュニケーション講座や料理企画で交流を深め、農作業や地域と関わるカフェやボランティア活動や地域のイベントに参加することで大きな自信をつけることができた。

また、仲間同士の関係性ができてくると自主的活動が発足し始めた。スポーツ活動を行う“運動部”が立ち上がり企画・運営・チラシ作りまで参加者自身で行う活動が始まる。それに呼応するようにほかの利用者も勉強や読書を中心とした“文化部”や“英語クラブ”などを立ち上げていく。様々な利用者が企画に関わることで横のつながりも一層深まっていく様子がうかがえる。

居場所では楽しむという経験を通して、仲間や環境の力で若者たちをフォローアップしてきた。結果として就労・就学や作業所へのリファールにつながっているが、何よりも就労意欲の出た若者が増加してきているのは大きな成果である。

## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み、困っていること

- 震災後の福島において義務教育を過ぎ、福祉サービスも受けることができないいわゆる“グレーゾーン”の若者には支援の手が届きにくい。
- 居場所事業や就労支援事業は行政の委託である場合が多く、事業継続のための安定基盤(資金)がない。
- 若者の自立へ向けた社会参画の機会がまだまだ少ない現状がある。



## 協働に向けて

### ボランティア

Ex. 草むしり、清掃作業、軽作業など

### 職場体験

若者の仕事体験及び雇用マッチング

### 農産物販売

場所、機会提供

### イベント・シンポジウムの共同開催

共同商品開発

資金提供

## 企業様に向けてメッセージ

ビーンズふくしまは18年間活動してまいりましたが、地域の皆様、企業の皆様との連携という部分ではまだまだ充分ではないのが現状です。企業の皆様と連携を深め若者の一歩を支えることのできる地域、たくさんの笑顔を生み出すことのできる地域を共に創っていきたく考えています。

また今回の協働がぜひ企業様にとっても価値あるものになりたいと考えています。子ども、若者、地域のためにぜひとも企業の皆様にはご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。



## 05 特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリースターセンター

■団体名: 特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリースターセンター  
 ■所在地: 〒960-8031 福島県福島市栄町1-1 福島駅西口2F  
 ■TEL/FAX: 024-531-7382  
 ■E-mail: fukushima-bftc@bz03.plala.or.jp  
 ■URL: <http://www.fukushima-bftc.jp/information/>

以下は11月29日(水)福島会場でのプレゼン資料です

### 特定非営利活動法人 ふくしま バリアフリー ツアーセンター

佐藤 玲子・林 宏・佐藤由香利



JR福島駅西口2階(新幹線改札口向い)



#### ●設立のきっかけ

超高齢化社会を迎え  
 高齢になっても  
 身体が不自由になっても  
 障がいがあっても  
 花とくだものといで湯の  
 福島へ  
 安心して宿泊・観光に  
 来て！



#### ●団体の目的

高齢者・お体の不自由な方が  
 安心して楽しく旅行ができるよう

- ・バリアフリー情報を提供
- ・バリアフリー相談応需
- ・バリアフリーの付加価値提案

### 私たちの思い、考え

身体障害者366.3万人、知的障害者54.7万人、精神障害者320.1万人  
 16人に1人が、現在の生活の中でご不便を感じている

#### 現状

バリアがあっても  
変えられない

#### 今後

障がい(バリア)は  
価値(バリュー)に  
変えられる

あなたの傍に16人に1人がいる！  
 その人たちが、多くの仲間を  
 連れてくる！



## 活動紹介

一人ひとりの  
ハンディに合わせた  
快適な旅の提案と紹介

- ① 観光・宿泊施設等の  
バリアフリーの情報発信・提供
- ② 観光・宿泊施設等の  
バリアフリー調査
- ③ 観光団体・行政・企業等との  
バリアフリー普及、宣伝
- ④ 高齢者・障がい者への  
旅行支援による地域活性化  
⇒花見山車いすサポート事業



## 地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

- バリアフリーおもてなし勉強会
  - 花見山 花案内人さん向け研修
  - 福島学院大学生ボランティア
  - バリアフリーおもちゃ博
  - 福島県旅館組合連合会講演
- ボランティア参加者の反応
 

「障がい者からの感謝の気持ちや  
笑顔に触れ、やりがいを感じた」

「障がい者の視点に立って、もっと  
考えたいと思った」
- 花見山 車いすサポート事業
 
- 花見山 車いすサポート観光客の反応
 

「この素晴らしい活動を知るのに苦労した。  
ネットで探しても見つけれない」

「この“介助ありのお花見”にまた次回  
も参加したいし、周りの人にも伝えたい」

## 協働に向けて

**活動・組織での悩み  
困っていること**

- ① 広報力不足  
センターの活動を知ってほしい！  
バリアフリー観光の情報発信力不足
- ② 普及PR力不足  
バリアフリー施設を増やしたい！  
心のバリアフリーを広めたい！

**企業と協働したいこと  
サポートしてほしいこと**

- ① 広報協力  
カンムリ番組を作りたい！  
企業HPにバナーを貼らせて！  
バリアフリー観光や施設の情報発信  
「ふくしまバリアフリーツアーセンター」  
知名度UP！
- ② 普及PR協力  
ブルーペイントプロジェクト  
みんな(市民や社員)で  
駐車場をブルーペイント塗装  
ペンキ代だけ負担して！



山形バリアフリー観光ツアーセンター 画像転載

## 企業に向けてメッセージ

### バリアフリーは顧客満足度をUP！

- ① バリアを少なくする  
⇒「行けた！」感動 ⇒ 周りも感動 ⇒ 最良の顧客
- ② 高齢者や障がい者の方は  
必ず複数で来る ⇒ 経済効果
- ③ バリアがないことは  
ベビーカーの需要も見込める

何をどうすれば  
バリアフリーになるのか？  
ズバリ提案！

廃業寸前の旅館を  
バリアフリー改装で  
奇跡の集客10倍達成！  
伊勢志摩BFTC



来る2020年オリンピック・パラリンピックへ  
私たちの経験と情報をぜひ活用してください！

## 06 南相馬市市民活動サポートセンター

■団体名：南相馬市市民活動サポートセンター  
 ■所在地：〒975-0003 福島県南相馬市原町区栄町2丁目20  
 ■TEL/FAX：0244-23-5420  
 ■E-mail：saposen@minami-soma.com  
 ■URL：http://www.minami-soma.com/saposen/

都合によりマッチング金は欠席となりました。

### 南相馬市市民活動サポートセンター



発表者：天野淳子／遠藤佳緒里

#### ●設立のきっかけ

- ・ 公益活動を行う市民活動団体を総合的に支援するための、市民活動に係るコーディネートとアドバイスなど、多様な支援ができる場の設置が必要となったのがきっかけとなります。



#### ●団体の目的

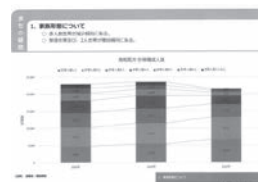
- ・ NPO・市民活動団体のための各種情報の集積や広域交流のための拠点施設



### 私たちの思い、考え

#### ▶地域の課題

- ・ 震災後のコミュニティの喪失



一般社団法人 Bridge for Fukushima

#### ●目指す地域の姿

- ・ 震災前より充実されたコミュニティの形成と社会生活の充実。



一般社団法人 Bridge for Fukushima

## 活動紹介

### 1. 南相馬市内外の活動団体との交流支援

市内の活動団体同士とのマッチングや、市外団体とのマッチングの支援

### 2. 運営・事業スキルアップのための講習会・講座

各団体に活動するうえで必要とされる講座や講習会の実施。

### 3. 地域への協力

地方祭、商店街のお祭りへの協力等



## 地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

### 1. 南相馬市内外の活動団体との交流支援の成果

- ・サポートセンターでの登録団体同士の協働での企画のスタート
- ・南相馬市と市外団体との交流

### 2. 運営・事業スキルアップのための講習会・講座の参加者の声

- ・分かり易い講師の方の説明で混乱せずに勉強することができました
- ・次の作成時に参考にさせていただきます
- ・とても分かり易い講座でした

### 3. 地域への協力への変化

- ・サポートセンターへ気軽に入ってもらい、センター内の様子や市民活動を市民に知ってもらうことができた



## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み困っていること

#### 広報力不足

各種セミナー、イベント等に対する集客について市民への広報力が弱い

#### 情報発信力

市民活動サポートセンターの市民への理解と周知がなされていない  
市民活動団体の情報発信不足



### 企業と協働したいことサポートしてほしいこと

#### 広報協力

当センターの発行物の設置や掲示、HPのバナー等でのサポートセンターとのリンク。  
事業内容と活動内容の周知を市民を含む広範囲での拡散。  
広報作成の協力。



## 企業に向けてメッセージ

- ・当サポートセンターでは、NPO団体、市民活動団体と企業との中間支援の役割も担っております。  
当センターの登録団体の紹介の情報発信を進め、より多くの方に南相馬市の活動団体を知ってもらい、更に活動に参加出来る環境を整え、豊かな社会のためのサポートのご協力をお願い致します。



## 07 NPO法人 会津の文化づくり

■団体名:NPO法人 会津の文化づくり  
 ■所在地:福島県会津若松市金川町15番20号  
 ■TEL:090-4555-7347  
 ■E-mail:K9m1y@yahoo.co.jp

以下は11月28日(火)会津会場でのプレゼン資料です

### NPO法人会津の文化づくり



設立:平成17年9月認証  
 理事長・築田直幸(学芸員)



●設立のきっかけ  
 「会津ものしり検定」をはじめた  
 33新書の発行...



#### ◎ 団体の目的 ◎

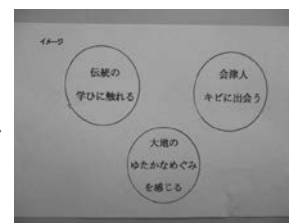
- ・ 会津流域の文化の構築につとめる。
- ・ 古代・中世・近世の会津の歴史をわかりやすく、ものしりで紹介し、明日のくらしにやくだてる。
- ・ 次世代の人びとに、会津の価値を伝える。

### 私たちの思い、考え

#### ○地域の課題

- ・ まちがって、伝えられている会津の姿が、あちこちにみられる
- ・ まちがって受けとめていて、どうしようもないと思っている会津人が、多い現状
- ・ 地域や個人格差が多いが、仕事も趣味もなく暮している

#### ◎目ざす地域の姿



## 活動の紹介から

### ◇温故知新の3シリーズ◇

- ・ 古代～会津仏都の根本をねづかせた僧徳一存在をクローズアップさせた。
- ・ 中世～輩名一族の研究をする会でシンポ・展示会の実施。
- ・ 近世～戊辰と明治展で、150年前の真実と教訓をみちびきだしている。
- ・ 各シリーズは独立させてきた



## 今、問うている会津の戊辰戦争



## 協働に向けて

### ○ 活動・組織での 悩み困っていること

- ・ NPO法人などの民間団体の活動の手助けになっていない既存（行政・常識）の組織の実情。
- ・ 人件費を生むことが困難で、二足のわらじでやっている。

### ◎ 企業と協働し、 サポートしてほしいこと

- 大きく一歩踏み出せる組織の体力（専従2名分）が欲しい。
- 企業よりの出向扱いにしていただけることによる手厚い支援をしていただきたい。
- 3か年間の活動を、ワン・ステップとする。

## 企業に向けてメッセージ

- ・ 戊辰戦争遺産プロジェクトのスタートは、平成30年4月より開始されます。
- ・ 立ち上げにあたり、無償ボランティアではない、組織の根本をしっかりとさせられる、手厚いご支援をしていただきたい。
- ・ それらは、  
美しき会津の姿を再発進するための  
実に150年ぶりの真の会津復興となる！

## 08 NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会

- 団体名: NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会
- 所在地: 〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村松原小野川原1092-65  
裏磐梯サイトステーション内
- TEL: 0241-23-7860
- FAX: 050-7541-2411
- E-mail: info@eco-urabandai.com
- URL: <http://www.eco-urabandai.com/>

以下は11月28日(火)会津会場でのプレゼン資料です



NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会  
会長 眞野 眞理子

### 設立のきっかけ

- ・平成15年  
「多くの来訪者が訪れる観光地での取り組み」として環境省のエコツーリズム推進モデル地区となる
- ・平成19年～  
地域住民が主体となって裏磐梯エコツーリズム協会を設立
- ・「エコツーリズム入門国立公園」として、自然や歴史、文化などに一歩踏み込み、深く学ぶ場として地域活動を展開する
- ・平成29年9月  
継続事業を行う事を目的にNPO法人裏磐梯エコツーリズム協会を設立。さらに発展的な事業展開を目指していく

### 団体の目的

- | アクション | 詳細                            |
|-------|-------------------------------|
| ①共有する | 資源を掘り起こして価値を共有する              |
| ②伝える  | 資源の価値を発信し交流を促進するための「伝える力」を育てる |
| ③守る   | 利用により資源が傷つかぬよう自然や文化を守る        |
| ④興す   | 資源を活用し、地域の個性を生かした産業を興す        |



## 活動紹介1

### 【モニタリング事業】

- ・毎月一回住民参加で自然環境の推移を記録。(五色沼、水質、花等)
- ・年1回、専門家と共に保全について検討し報告書を作成
- ・環境省や村と協働し特定外来植物の駆除活動を実施
- ・特定外来生物 ウチダザリガニの生態数観測を調査し、子供達向けの講座を開講



### 【出前講座・ツアー造成】

- ・掘り起こした資源を次世代や観光客に伝え共有
- ・歴史遺産や文化を解説するガイドとともに遺跡や施設をめぐる学ぶ講座を開講
- ・冬の流山をスノーシューで歩き磐梯山の噴火について学ぶ
- ・希少性のある花や昆虫など学術的観点から検証

## 活動紹介2

### 【特産品の開発】

- ・新トレッキングコースの開発
- ・地域資源の殖産



### 【情報発信事業】

- ・磐梯山周辺地域の情報発信
- ・エコツーリズム通信・HP・FBの活用

## 私たちの課題1

### 地域の課題

- ・村民人口が減少し従来のイベントの催行が困難。イベントそのものを見直す時期...?
- ・各組織の横の連携が不十分⇒観光事業所等の意欲が減退



- ・地域の各業種と連携
- ・活動を広く展開していくため行政との連動、協働を密にする
- ・地域の資源を守り磨き、継続して活用する事業を展開
- ・それによって地域づくりの推進を図る

## 私たちの課題2

### 雇用問題

- ・若い人達の収入が安定するには...?
- ・観光地ゆえの季節変動に対しては...?
- ・協会の理念を理解してもらうスタッフを増やすには...?



- ・個性的な産業を興し年間を通じた経済活動ができる
- ・空き家対策などの活用を行政に提案
- ・エコツーリズムガイドの育成・スキルアップを図る

## サポートをお願いします！！

【特定外来生物の駆除活動】 → 参加人数の減少

- ・オオハングソウ
- ・ウチダザリガニ
- ・コカナダモ



人手不足のためにどんどん繁殖・繁茂している



【飲み残しゼロ運動】

- ・裏磐梯は水源の源流域のためなるべくきれいな状態で下流に流す意識づけをする
- ・コップに残ったビールやジュース、お味噌汁などを残さないように飲み干す

→ 猪苗代湖の環境悪化

水源である裏磐梯からできるだけ汚水を流さない



## 協働に向けて

①私たちの貴重な財産であるモニタリング報告書の送付  
外来生物駆除活動等のプロジェクト経過についてお知らせします！

②定期的に発行しているエコツーリズム通信を送付  
楽しいツアーや講座などに参加し自然と一体化できる体験をぜひ！！

③企業人としてのスキルアップのために  
自然を学び、生きる力を身に着けたスキルの高い社員を育てるお手伝いをします！！



## ご支援・ご協力をお願いします

【寄付・協賛のお願い】

- ・事業を推進していく上で力になるものであり健全な運営を行う一助になる
- ・様々な活動の多様性や幅を広げることができる

【各企業のメリット】

- ・イメージ戦略に合致させCSRとして活用できる
- ・市民の動向を知ることができる
- ・企業(社員の方々)の気づきになりうる



ご清聴ありがとうございました

## 09 NPO法人 喜多方市民活動サポートネットワーク

■団体名: NPO法人 喜多方市民活動サポートネットワーク  
 ■所在地: 福島県喜多方市字水上6846 喜多方市厚生会館内  
 ■TEL/FAX: 0241-22-0603  
 ■E-mail: info@shiencenter-kitakata.jp  
 ■URL: http://www.shiencenter-kitakata.jp/

以下は11月28日(火)会津会場でのプレゼン資料です

### NPO法人 喜多方市民活動サポートネットワーク (愛称: さぼねっと)



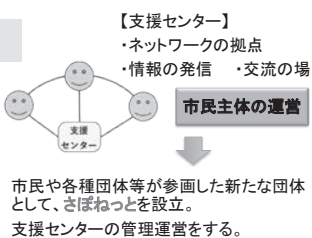
【発表者】 渡部 美加 / 中島 共宣

1

#### ●設立のきっかけ



さまざまな市民活動  
団体が活動している  
が、横のつながり  
がない。  
プラットホームになる  
団体があれば...



#### ●団体の目的

喜多方市民が互いに支え合うための各種のボランティア活動や、より成熟した社会を目指して行う市民活動等の広範なネットワークを構築し、その拠点としての役割を果たすと共に行政・企業・各種団体・個人と連携し、地域が抱える諸問題を解決するための事業を行い、地域発展に寄与することを目的としています。

2

### 私たちの思い、考え

#### ■地域の課題

##### 【少子高齢化】

- 地域で活動する団体の高齢化が進み、活動する人・活動資金などが減少。
- 若者の参加が少なく、後継者が不足。

##### 【人間関係の希薄化】

- 少子高齢化や核家族の増加など様々な要因で、地域とのつながりや人間関係が希薄になってきている。
- 地域のためにみんなで何かをしようという意欲の低下。

#### ●目指す地域の姿

- ☆愛着と誇り
- ☆「あったらいいな」を生み出しながら自発的・主体的に行動
- ☆地域課題の解決のために市民活動団体や行政、企業等が連携



3

## 活動紹介

### 【自主事業】

- ・市民活動フェスティバル
- ・パソコン、スマホ教室
- ・事務委託事業
- ・交流事業



### 【喜多方市市民活動支援センターの運営】

- ・市民活動団体の実態調査
- ・情報交換会の開催
- ・HPや広報紙による情報発信
- ・各種講座の開催



### 【喜多方市厚生会館・中央公民館分館の指定管理】

4

## 地域、住民、ボランティア、参加者の反応

### ・市民活動フェスティバル参加団体の声

「団体間のつながりを大切にして、一体感のある行事で楽しかった」「地域のかたとのふれあいが新鮮で楽しかった」「会員が増えた」

### ・情報交換会参加者の声

「いろいろな活動を知ることができてよかった」「団体同士の横のつながりができてよかった」

### ・パソコン教室参加者の声

「技術の習得だけでなく、参加者同士の交流の輪が広がった」

### ・交流事業(夏休み宿題お助け広場)参加者の声

「いろいろな学校、学年、世代の人と交流ができた」「おじさん・おばさんに宿題を教えてもらえてよかった」「子どもたちと楽しく過ごせた」



5

## 協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

### ◆認知度が低い

さばねっと及び喜多方市市民活動支援センターの存在、活動内容を知っている人が少ない。

### ◆広報力不足

さまざまな事業を行っているが、情報が広く伝わっていないため、参加者が少ない。

### ◆人材不足

スタッフが少ないため、できることに限りがある。



6

## 協働に向けて

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

### ◆広報協力

「さばねっと」という団体の存在、活動内容を知っていた、サービスの利用や実施事業への参加を多くの方に呼びかけたい。

→広報物の設置や掲示など

### ◆情報提供

NPOや個人、企業等の間に立ち、さまざまな活動への橋渡しをしていきたい。

→企業のCSR・CSVの取り組みや、市民活動団体との協働への意欲などの情報提供

### ◆ボランティア協力

イベント実施の際、これまでできなかったことをやりたい。

→ボランティアスタッフとしてイベント当日のお手伝い

7

## 企業に向けてメッセージ

さぼねっとは、喜多方市で中間支援を行っているNPO法人です。さまざまな取り組みを通して、市民活動団体とのネットワークづくりに努め、皆さんの活動がさらに活発になるよう、お手伝いをする活動をしています。

また、地域の課題に取り組む市民活動団体や、地域のために活動したいと思っている企業の皆さんの橋渡しをしていきたいと考えています。みんなが力を合わせ、よりよい地域となるような活動ができればいいなと思っています。

**私たちの活動をご理解いただき、  
ぜひご協力くださいますよう  
お願いいたします。**



8

# 10 NPO法人 いわき鳴き砂を守る会

■団体名：NPO法人 いわき鳴き砂を守る会  
 ■所在地：福島県いわき市内郷高坂町八反田16番地の7  
 ■TEL/FAX：0246-27-5728  
 ■E-mail：9xt2vi@bma.biglobe.ne.jp  
 ■URL：http://www.nakisuna.com/

以下は12月1日(金)いわき会場のプレゼン資料です

## NPO法人 いわき鳴き砂を守る会

・発表者氏名 事務局長 小堀 亨

【全国鳴き砂マップ】



○鳴き砂の浜は減少傾向  
 全国に20ヶ所あまりの「鳴き砂」の浜がありますが、50年くらい前には60ヶ所位ありました。環境汚染が進んできたのが原因でしょうか。

○鳴き砂の保護活動必要  
 今ある鳴き砂の浜を減らさないように保護活動が必要です。

○太平洋側最南端の鳴き砂  
 いわきの海岸は、太平洋最南端の鳴き砂の浜として貴重な存在

2

### ●設立のきっかけ

#### ○鳴き砂の研究がきっかけ

平成8年7月に「鳴き砂並びに、その保全について研究すること」などを目的として設立

#### ○環境汚染に弱い鳴き砂

生活排水などの環境汚染により、減少することを発見した。

#### ○鳴き砂の生成

花崗岩が400万年以上の時間をかけて風化、石英が残って鳴き砂になった

2017/9/10 いわきブラージュ 砂像



### ●団体の目的

#### ○次世代への継承

地域住民と共同で保護活動を行い、鳴き砂を健全な状態で、次世代に引き継ぐこと。

#### ○砂を通してコミュニケーション活動

砂絵教室、砂の像づくり、砂場遊びなどを通して砂との繋がりを創出していく

2017/8/22内郷宮沢団地砂絵教室



## 活動紹介

### 1.鳴き砂海岸の清掃活動

年2〜3回程度会員を中心に海岸の清掃活動を実施している

### 2.海岸でのイベントの開催

トヨタ(アクアソーシャルフェス)と協賛(勿来海岸、四倉海岸)

・海岸清掃、鳴き砂・放射線量調査・砂の像づくり・砂遊び等

### 3.砂絵教室の開催

市内の公民館やイベント等で開催  
 月に1〜2回程度

### 4.学校等での出前講座の実施

これまで、四倉小学校、海星高校での総合学習の一環として、鳴き砂講座を実施している

### 5.いわき駅前でのイベント開催

～「いわきブラージュ」～

→福島第一原発事故後、屋外で遊べなかった子供たちに砂場を提供。多目的スペースに砂10mtを搬入し、『子どもの砂あそび場・砂像づくり・砂絵教室』を3日間実施。2日目には、高校生によるフラダンスの協賛あり。  
 →3日間観客数 3,169人  
 (昨年度 2,648人)

→終了後、砂を市内幼稚園・保育所に無料配布。

### 6.その他

○他団体との交流・支援  
 市内の環境関連団体のイベント等での支援活動  
 ○NPOセミナー等への参加  
 ○いわきにジオパーク誘致活動

4

## 私たちの思い、考え

## ▶団体の課題

## 課題1

砂浜の環境保全をするために、NPOとして活動しているが、その目的を完遂しているとはいえない。

○人材不足や資金不足などの問題がある

## 課題2

現在の企業との共同事業は、1日の日程で終了してしまう

○年間を通しての事業を模索



## ●目指す団体の姿

- ①組織の基盤強化→認定NPO法人を目指す。
  - ②コミュニケーション能力や、情報発信力を備えていく
  - ③自団体で解決不可能な社会的課題の対処法をマスターする
  - ④ネットワークの活用
- 多様な企業との共同事業で、その解決に当れる地域社会創造を目指す。

2017/9/8 いわきブラージュ  
幼稚園児たちが砂場で遊ぶ姿

5

地域、住民、ボランティア、  
参加者の反応や変化

## NPOセミナーの参加

・組織運営の知識を得ることができ、自団体の基盤強化に役立つ

## ・NPOのつどい

普段接点のない地域、他分野との交流で、今までと違った視点で自団体の活動を分析することができる。

## ・ボランティア参加者の反応

短大生、高校生、中学生に参加して頂き特に中学生は、我々の活動に共鳴して頂き、今後の協働を約してくれました。

## ・企業等のマッチング事業参加

企業との接点がないので、このようなマッチング会に積極的に参加し、プレゼンすることで、団体の成長を目指す。

2017 いわきブラージュ  
中学生ボランティア



6

## 協働に向けて

## 活動・組織での悩み

## 困っていること

## (1)専門知識の人材不足

人材育成や資金調達・組織マネジメントについての専門知識のある人材が不足している。

## (2)情報発信力の不足

WEBやSNSによる活動などの情報発信について、テクニカルな知識や情報が不足している。

## 企業と協働したいこと

## サポートしてほしいこと

## (1)広報協力

企業の営業ネットワークや各地の支店営業所にて、NPOのイベントやボランティア募集、寄付のお願いの告知などの広報の協力をお願いしたい。

## (2)企業とのコラボレーション

NPOと企業との協力体制を構築し、お互いに発展できる関係を築く。

7

## 企業に向けてメッセージ

地域の社会的課題解決のために活動するNPO



地域の社会貢献活動を実施する企業

○今すぐには協働することは難しいかもしれませんが、少しずつ接点を持つことで、徐々に信頼関係を築き、やがては、みんなが幸せになる地域社会の創造に貢献できる協働事業として実施できると信じています。

○『NPOいわき鳴き砂を守る会』は、NPOと企業との接点を可能な限り多く作っていきたいと考えております。

○企業の皆様には今後ともご理解とそしご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



8

## 11 NPO法人 小野自然倶楽部

■団体名: 特定非営利活動法人 小野自然倶楽部  
■所在地: 福島県小野町大字小野新町字知宗5番地2  
■TEL/FAX: 0247-72-3597  
■E-mail: t1005@silver.plala.or.jp

以下は12月1日(金)いわき会場でのプレゼン資料です

### 特定非営利活動法人 小野自然倶楽部

代表理事  
大方 俊浩



#### ●設立のきっかけ

小野町内において2年続けて不審火による火災で5人の子どもの命が失われました。(おそらく火遊びと思われる)。翌年に別町村ではありますが、氷の張った用水池で幼児2人が水死するという事故があり子供達の危機意識と自然環境への認識不足のため尊い命が奪われていると考え、この団体を設立しました。



#### ●団体の目的

小野町を中心とした田村郡地域とその周辺の子どもたちに対し、地元での環境学習、自然体験活動、食育体験を通して、地域の自然環境保全、自己の危機意識の確立などを目指して、その意識を次世代まで引き継いでいけるように手助けすることを設立の目的としております。



### 私たちの思い、考え

#### ▶地域の課題

今、日本中で抱えている問題でもありますが、この地域でも少子化が年々進んでおり、学校でも一学年一クラスを維持していくのが大変です。そんな中でスポ少なども野球やサッカーなどの団体球技で人数が集まらずに廃部に追い込まれております。その為当団体は、個人や少人数でも行える野外スポーツを中心として活動しておりますが、そんなスポーツに臨んで使用する道具が高価です。オリンピックなどにも採用されている自転車、クライミング、カヌーなどです。今、これに似せて活動を行っておりますが資金的に難しいのが現実的です。

#### ●目指す地域の姿

これから、若者の人口比率が増えてこないと考えれば、今の子どもたちをいかに成長させるか、そして将来地域の担い手として活躍してもらうにはどうしたらよいのか、まだ結論は出ておりませんが、子どもの内から地域の自然に触れさせてその良さを体験してもらうのが一番の近道と考え活動しております。



## 活動紹介

### 1. みどりとのふれあい活動①



## 活動紹介

### 1. みどりとのふれあい活動②



### 2. 食育活動



## 活動紹介

### 3. 地域交流活動



### 4. 自然の大切さの育成活動



## 地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

今、小野町の緑とのふれあいの森公園というキャンプ場が併設された森林公園を委託管理しております。そこでキャンプに来た親子を観察させていただいておりますが、自然体験が、好きな親に初めは無理やり連れてこられ戸惑い、面白くなさそうな顔をしていた子供が、二度目、三度目と回数を重ねるうちに自分で遊びを考え、森林の中で自由に遊びまわる姿を目の当たりにして、子どもってすごいなと改めて思いました。一番感じることは、同年代の子どもたちに比べてはるかに子供らしく、そして自分のことは自分でやれる、と感じております。

地域の大人たちも子ども会行事と称し、公園にバーベキューに来ておりますが、子どもよりはしゃいでおります。日頃野外で食事をすると聞いた経験が少ないため親子で楽しそうに話しているのを見て、私もほっこりさせてもらっております。やはり親が本心から楽しんでいないと子供も楽しめないんだと改めて思いました。



## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み 困っていること

なんといっても、人材の確保と、専門知識が必要で、ある程度初期段階は当法人内で管理指導が可能ですが、競技活動をサポートできるスキルがないので、これからもっと学びたい、競技に出てみたいというような子供が出てきた場合難しいのと、子どもたちにはそこを目指してほしいと考えておりますのでこれらの課題でもあります。。

### 企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

まずは、基本的な資金の投資と、専門に特化した人材の紹介、確保をお願いしたいと考えます。そしてこの地域の課題は、他の地域での課題でもあり、地域の良さを生かし、うまく循環していくことができれば、モデルケースになりうると考えます。

## 企業に向けてメッセージ

私たちの団体は、とにかく子供の将来を見据えて地域での自然体験を通して地域の良さを感じてもらい、将来この地域において各分野のリーダーとなり活躍し、恋をし、また次世代を育むと言ったもっとも普遍的なことを将来にわたりにわたりつないでいくことを目指しております。



## 12 NPO法人 劇団スターキャスト

■団体名: 特定非営利活動法人 劇団スターキャスト  
 ■所在地: 〒979-0141 福島県いわき市勿来町蓬田町通一丁目  
 42番地の1  
 ■TEL: 090-4938-4302  
 ■FAX: 0586-45-7000  
 ■E-mail: info@stcone.com  
 ■URL: <http://stcone.com/starcast/index.html>

以下は12月1日(金)いわき会場でのプレゼン資料です

### 特定非営利活動法人 劇団スターキャスト

発表者 星 陽一



2017年10月21日 いわき市立中央台北中学校  
『オペラ座の怪人とフラボーイ』より

### これまでの都内での製作舞台

ミュージカル「はだしのゲン誕生」  
 ミュージカル「リボンの騎士」  
 ミュージカル「魔法使いサリー」  
 「英國少年團」  
 ミュージカル「学園ヘヴン」  
 ミュージカル「タクミくん〜そして春風にささやいて」  
 ミュージカル「シンドバットの冒険」  
 美童浪漫大活劇《八犬伝》シリーズ

以上から多数芸能界で活躍する男子を輩出。  
 例・保坂尚希、小原正子、森山開次、古田一紀、染しんご、染谷俊之、鈴木崚樹 他

#### ●設立のきっかけ

いわき市のミュージカル文化は、  
 無いに等しく感じ、  
 長年都内で、作品を製作して来  
 た経験をもとに、  
 地元演劇文化向上を  
 目指すために、弊社NPOを  
 設立しました。



#### ●団体の目的

教育機関と連携し、芝居作り  
 に参加させ子供達の資質力を  
 アップさせる。  
 1. 気力(やりとげる意志)  
 2. 知力(読解力や知性向上)  
 3. 体力(肉体訓練や発声)  
 4. 表現力(積極性を養う)  
 ★芸能産業創出し、地域より次世代  
 のスターを発掘各地から集客する。



## 私たちの思い、考え

### ▶地域の課題

課題(1)  
震災の影響下、  
心の深層では、子供達が  
まだまだ傷ついています。

課題(2)  
消極的であり、  
引込み思案(特に男子)  
が、一世代前に比べて、  
増えてきている。  
子供を成長させない親にも問題有り。  
ラインで全て済ませる。  
子供を通して親と一緒に教育して  
ゆきたい。

### ●目指す地域の姿

男子を奮起させ、  
いわきや福島を担う、リーダー  
を育成、地域を日本一に押し  
上げてゆく。

※女子だけが元気では、  
社会のバランスが崩れる  
のは必至である。  
地域よりスター輩出！  
イベントが交流人口を増加  
させ人口減少社会を克服する。  
地元よりスター排出！  
イベントが交流人口を増加させ  
人口減少社会を克服する。



## 活動紹介

ミュージカル

### 「はだしのゲン誕生」

～中沢啓治自伝・母のゴンドラの唄  
が聞こえる～

《全国公演展開中》

NHK、フジテレビ、テレビ東京、共同通信、毎日新聞、  
福島民報、熊本新聞、信州新聞にて紹介



ミュージカル

### 「フラボーイ」

～いわき男子高校演劇部奮闘記～

2012年 築地ブディストホール

2016年 アリオス小劇場

2017年 中央台北中学校共催

【いわき市・福島県教育委員会後援】  
テレビユー福島、福島中央テレビ、福島テレビ、福島放送、  
福島民報、福島民友、いわき民報、いわきFM後援



## 地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

いわきの少年が、  
東京にて「ゲン」を熱演！  
※2016年は「フラボーイ」にも出演。



テレアポボランティアの皆様を  
望んでいます。

### 中央台北中 男子生徒が出演！

皆自主性の元、互い協力し合って  
舞台成功の為、己の資質を向上させました。  
約1000名のお客様観劇し大盛況。  
台風にも関わらず満員で、2018年1月は  
都内、3月はアリオス公演を開催予定！



## 協働に向けて

活動・組織での悩み  
困っていること

### (1)優秀な人材不足

NPOでの人材育成や資金調達  
即戦力となるマンパワー。

公演を販売する  
テレアポボランティアを  
募集しております。

### (2)公演継続の資金

恒常的な資金  
不足が続いています。

企業と協働したいこと  
サポートしてほしいこと

●御社から出演希望者を選出。

●制作実費  
(演出、音、照明、衣裳等  
かかる経費)。

●稽古場や公演会場。  
または、関連企業での開催地  
紹介等。

## 協働によるメリット

### 御社様

1. 地域民間（特に子供）が御社とコラボしやすい。
2. 社会貢献と利益還元。
3. 会社が、地域の子供達を育成した事への、自信や誇り獲得。  
社員教育の一環であり、イメージアップに繋がる。

### 弊社NPO

1. 資金確保。
2. NPOの信用度アップ。
3. マンパワー&システム  
&ノウハウの確保。
4. 事業継続の可能性が高まってゆく。

## 企業に向けてメッセージ

共に、ミュージカルを作りませんか！

### 【企業メリット】

《夢・感動・魔法》をテーマとし、  
協働作業により、人を生かし、顧客(社員)を満足させる。  
芝居稽古を通じて、マンネリ感のある仕事に活力を！  
「発声、肉体訓練、表現力」

強化で、《天国と地獄の特訓》



## 企業と一緒に実施したい事

### 【御社メリット】

表現力や、自主性がアップする。  
御社との共同作業により人を生かし、顧客(社員)を満足させる。  
エンタメに触れ、役者心を取り入れる事によって、  
ルーティンワーク感到に陥りやすい社員を覚醒させられる。  
共同作業によって、コミュニケーション力アップ。  
ダンスシーンなどを助け合って覚える。

★楽しくもハードな「エンタメ系 天国と地獄の特訓」

《天国》演技や歌を訓練する事で、脳内快感物質「エンドロゲン」が放出され、病みつきになってゆく。

《地獄》……とまでは行かないが、肉体訓練や柔軟体操で、筋肉痛になり、台詞覚えも悪い自分に気付く。  
発表の期限は迫る為、「失敗出来ない」「覚えられるだろうか」「恥をかきたくない」精神的プレッシャーが生じる。

(詳細別紙参照)

## これまでの上演作品の一部



ミュージカル  
『学園ヘヴン』  
～ベルリバティプリンス～



ミュージカル  
『緑色の欠片』  
～運命の守護者～



ミュージカル  
タクミくんシリーズ  
～そして春風にささやいて～



美童浪漫大活劇〈第一部〉  
『八大伝』



美童浪漫大活劇〈第二部〉  
『八大伝』



美童浪漫大活劇〈第三部〉  
『学園八大伝』

## 特定非営利活動法人劇団スターキャスト マスコットキャラクター“フェーマス”



### (別紙)

- ① 団体名 特定非営利活動法人劇団スターキャスト  
 ② 設立のきっかけ いわき市(福島県内)演劇文化向上を目指す為。  
 ③ 目的 県内の子供達の資質アップ  
 ※芸能産業創出(地域より次世代のスター発掘)  
 インバウンド、Uターン、Iターン  
 ④ 地域課題 子供達、特に男子が消極的であり、震災によって心の深層では傷ついたまま引込み思案、閉塞的  
 《心の復興》※芝居やミュージカルで自分の資質アップ。  
 ⑤ 目指す姿 芝居作りに参加して貰います。  
 ⑥ 活動内容  
 ・肉體訓練(アップを兼ねて、基礎運動、柔軟体操)  
 ・発声練習  
 ・歌唱指導  
 ・台詞稽古  
 ⑦ 活動での悩み、困っている事  
 具体的には、制作費です。  
 御社社員や、地元学生が参加する為にかかる費用(音響照明製作スタッフ費)提供をお願い致します。  
 ⑧ 企業と一緒に実施したい事  
 【御社メリット】表現力や、自主性がアップする。  
 御社との共同作業により、人を生かし、顧客(社員)を満足させる。  
 エンタメに触れ、役者心を取り入れる事によって、ルーティンワーク感に陥りやすい社員を覚醒させられる。  
 共同作業によって、コミュニケーション力アップ。  
 ダンスシーンなどを助け合って覚える。  
 楽しくもハードな「エンタメ系夢と地獄の特訓」  
 演技や歌を訓練する事で、脳内快感物質「エンドロゲン」が放出され、病みつきになってゆく。  
 ……とまでは行かないが、肉體訓練や柔軟体操で、筋肉痛になり、台詞覚えも悪い自分に気付く。  
 発表の期限は迫る為、「失敗出来ない」「覚えられるだろうか」「恥をかきたくない」精神的プレッシャーが生じる。  
 演目例 ミュージカル「オペラ座の怪人とフラボーイ」  
 【2つの参加パターン】  
 ◆A 短期バージョン (上演時間約 10 分～)  
 その① 1 日で超簡単な作品を作る。(稽古約 5 時間程度以上～)

その② 3 日で簡単な作品を作る。(稽古 1 日約 4 時間×3 日)

参加希望人数 9 名以上あれば望ましいですが、その時の対応にて処理。  
 演出助手、音出し係、他スタッフをご準備下さい。  
 製作費 ①10 万円～ ②20 万円～(脚本、演出、交通費含む)

◆B 長期バージョン (上演時間約 15 分から)  
 その① のべ日数 10 日で制作。(稽古時間は 1 日約 4 時間以上)  
 その② のべ日数 20 日で制作。( " )

参加希望人数 こちらは 9 名以上お願いします。  
 スタッフは A と同じくご準備下さい。  
 ※稽古時間が増えるのでクオリティは上がります。  
 製作費 ①30 万円～ ②45 万円～

◆スペシャルバージョン  
 アリオス小劇場などで本格的に公演するパターンもあります。  
 稽古は準備も含め約 3 カ月以上あると助かります。  
 製作費 最低 150 万円～  
 スタッフ 音響、照明スタッフはプロ業者が担当。  
 本格的な作品を制作します。

「フラボーイ」の公演実績  
 初演 2012 年 5 月 築地ブディストホール 主演/山下翔央(元ジャニーズ jr)  
 再演 2016 年 8 月 いわき芸術文化交流館アリオス主演/廣太(元関西ジャニーズ)  
 学校共催  
 2017 年 10 月 21 日 中央台北中学校にて 生徒さん達、近隣高校生出演  
 天美 幸 1961/4 18 (56) プロフィールご紹介  
 いわき市勿来町出身。湯本高校卒業後桐朋学園短期大学演劇科入学。ミュージカル劇団「音楽座」を経て、劇団スターキャストを立上げ、オリジナル作品等を東京芸術劇場や都内小・中・大劇場にて製作上演。帝国劇場「風と共に去りぬ」(松平健・大地真央主演)等商業演劇や石ノ森章太郎氏に師事し「スキャンダル刑事」(南野陽子主演)「兄弟拳バイクロッサー」など TV ドラマにも出演。  
 漫画原作や、シナリオ本など多数出版されています。

ミュージカル「はだしのゲン誕生」「魔法使いサリ」「リボンの騎士」「シンドバッドの大冒険～魔神島の決戦～」(オリジナル)元ジャニーズタレント多数出演「BOYS☆GIRLS」「学園へヴン」「緋色の欠片～時空の守護者たち～」「緋色の欠片～チャラチャボーイズ&トークライブ」「タクミくんシリーズ～そして春風にさやいて～」「～美童漫大活劇～ 八大伝《第一部》」「～美童漫大活劇～ 八大伝《第二部》」「学園八大伝」(漫画原作も光文社より刊行)「フラボーイ」～いわき男子高校演劇部奮闘記～ 上記舞台より舞台俳優多数輩出

## 13 NPO法人 マグノリアの灯

■団体名: 特定非営利活動法人 マグノリアの灯  
■所在地: 〒969-0401 福島県岩瀬郡鏡石町境445番地  
■TEL/FAX: 0248-94-7353  
■E-mail: info@magnolias-licht.org  
■URL: <https://magnolias-licht.org/>

以下は12月1日(金)いわき会場でのプレゼン資料です



### NPO法人 マグノリアの灯

発表者: 橋本京子

#### ●設立のきっかけ

- 東日本大震災、福島第一原発の放射能事故は、私たちの生き方そのものに問いを投げかけ、その結果原子力に頼らない生活を模索する様々な取り組みが生まれました。私たちのNPO法人マグノリアの灯(2013年9月認可)もそうした流れの必然性から生まれてきています。思いを同じにするグループと歩調を合わせると同時に、私たちオリジナルの活動をご紹介しますことで、互いに交流し、健やかな未来のために役立ちたいと考えています。



ムーア・ラベンダー・オイル  
WALA社が日本に寄付してくださった泥炭を素材にしたオイル(化粧品)で、ラヴェンダーの優しい香りが心も体も包み込んでくれます。

#### ●団体の目的

- この法人は、東日本大震災、原発事故による放射能汚染に対して、環境の改善、人々の健康増進に関する事業を、地球規模の視点、長期的な展望を持って継続的に行い、人類の進歩、発展に寄与することを目的としています。
- 中でも子どもの健全育成を図る活動として、ホリスティックなコミュニティを創造していくことを特徴としています。

※ホリスティックとは、「全体的」の意味で、老若男女や地域・自然との絆を大切にする考え方のことです。



### 私たちの思い、考え

#### ▶地域の課題

- 原発事故による放射性物質による大地の汚染
- ・福島野菜は食べない
- ・放射能汚染による健康被害に対する不安
- 放射能汚染問題以前からある地域課題
- ・耕作放棄地
- ・農業の後継者不足

#### ▶目指す地域の姿

- 福島で農業を
  - ・「福島野菜は食べない」という人たちがいまだに多い中、福島で、安全かつ美味しい野菜づくりをしていくことは、大きな意味があります。確かな農業技術に、優れた放射能対策で、震災以前よりも良い状況をつくることを私たちは目指しています。



## 活動紹介

- 第2木曜日17:00～21:00マグノリア勉強会
- 年4回特別講座
- ・ 司祭と医師の講座
- ・ 農業講座
- ・ お月見お茶会
- ・ バイオダイナミック農業対談

- 無料医療相談
- 建築法の研究
- バイオダイナミック農法の研究・実践
- 薬草の研究・開発へ向けた準備



## 地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

- ・ 農業に関して無知ですが、自然、宇宙の中に存在する自分(人間)の認識について深く考えさせられました。農業に限らず、自分と自然の関係を俯瞰することが大切だと思っています。
- ・ 建築家さんの話は、驚きと共に良い学びをさせてもらいました。漆喰のこと、珪藻土の壁の事実、ある意味ショックを受けました。
- ・ 改めて水の大切さに驚きました。
- ・ 農業者の実体験に裏打ちされた話と、講師のバイオダイナミック農法の知識と両方が聴けて良かった。
- ・ 畑見学から対談まで、いい企画でした。農に加えて建築の視点からケイ素やカルシウムの話が聴けて楽しかった。



ソラムオイル  
WALA社がつくる泥炭素材のオイル  
(医薬品)で、リウマチや癌などの疼痛  
緩和に用いられ、光のオイルとも言わ  
れています



## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み 困っていること

- ・ 将来的には、自前で講座開催を目指す。
- ・ 現段階としては、各々が研究段階のため、当面外部講師を招いた講座を開催する。
- ・ そのため、講師への謝礼や交通費等の経費が不足気味。

### 企業と協働したいこと、 サポートしてほしいこと

- ・ 県内で農業を営んでこられた方の参加を促したいので、講座参加費の負担を減らしたい。
- ・ そのため、講座開催諸経費(交通費、謝礼等)にあてる資金の提供をお願いします。

## 企業に向けてメッセージ



- ・ 「土地は先祖からの授かりものではなく、子ども達からの預かりもの」
- ・ 「なにを為すのであれ、今から7世代後の子供たちの影響を考慮して行わなくてはならない」  
(※ネイティブ・アメリカンの言葉より)
- ・ 原発事故後、目先の利益重視の意識が変わりました。医食住の視点から、子ども達の未来に残せるコミュニティーを創造していきたいと考えています。



## 7 マッチング事業 参加 NPO

本事業に参加した福島県内のNPO(13団体)を以下に示す。

■特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ

TEL/024-529-6125 住所/福島県福島市飯坂町字湯沢26

URL/http://iizakasupporters.com/

■特定非営利活動法人 循環型社会推進センター

TEL/024-524-2500 住所/福島県福島市五月町4番25号 福島県建設センター6階

URL/https://npo-junkan.jp/

■特定非営利活動法人 体験型未来づくりネット

TEL/024-533-8180 住所/福島県福島市桜木町2-12 フィオーレ桜5-701

URL/http://mirai-zukuri.jimdo.com/

■特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

TEL/080-4184-9438 住所/福島県福島市矢剣町22-5

URL/http://www.beans-fukushima.or.jp/

■特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリースターセンター

TEL/024-531-7382 住所/福島県福島市栄町1-1

URL/https://www.fukushima-bftc.jp/

■南相馬市市民活動サポートセンター

TEL/0244-23-5420 住所/福島県南相馬市原町区栄町2丁目20番地

URL/http://saposen.net/

■NPO法人 会津の文化づくり

TEL/090-4555-7347 住所/福島県会津若松市金川町15番20号

■NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会

TEL/0241-23-7860 住所/福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字小野川原1092-65 裏磐梯サイトステーション内

URL/http://www.eco-urabandai.com/

■NPO法人 喜多方市民活動サポートネットワーク

TEL/0241-22-0603 住所/福島県喜多方市字水上6846 喜多方厚生会館内

URL/http://www.shiencenter-kitakata.jp/

■NPO法人 いわき鳴き砂を守る会

TEL/0246-27-5728 住所/福島県いわき市内郷高坂町立野130-61

URL/http://www.nakisuna.com/

■NPO法人 小野自然倶楽部

TEL/090-8782-6860 住所/福島県郡山市大槻町上西田3-13

■NPO法人 劇団スターキャスト

TEL/090-4938-4302 住所/福島県いわき市勿来町窪田町通1-42-1

URL/http://stcone.com/

■NPO法人 マグノリアの灯

TEL/090-9633-1593 住所/福島県岩瀬郡鏡石町境445番地

URL/https://magnolias-licht.org/

## 8 マッチング事業 参加企業

本事業に参加した福島県内の企業(12社)を以下に示す。

■株式会社 エスケーコーポレーション

TEL/024-521-0281 住所/福島市大町7番25号 アクティ大町ビル  
URL/http://skc-f.com/

■株式会社 倉島商店

TEL/024-522-2260 住所/福島県福島市北矢野目字原田67番地の20  
URL/http://www.kurashima.co.jp/

■こころネット 株式会社

TEL/024-573-6556 住所/福島県福島市鎌田字舟戸前15-1  
URL/http://cocolonet.jp/

■タカラ印刷 株式会社

TEL/024-526-4303 住所/福島県福島市渡利字絵馬平86-9  
URL/http://www.takara.inaka.co.jp/

■株式会社 福島銀行

TEL/024-525-2556 住所/福島県福島市万世町2-5  
URL/http://www.fukushimabank.co.jp/

■福島コミュニティ放送 株式会社

TEL/024-522-9900 住所/福島県福島市置賜町8-8 パセナカMisse1F  
URL/http://www.fm-poco.co.jp/

■荒川産業 株式会社

TEL/0241-21-1511 住所/福島県喜多方市字屋敷免3960番地  
URL/https://www.amarc.co.jp/

■日本政策金融公庫 会津若松支店

TEL/0242-27-3120 住所/福島県会津若松市中町2-35  
URL/https://www.jfc.go.jp/

■合同会社 いわきコミュニティ振興グループ

TEL/0246-92-2543 住所/福島県いわき市小名浜定西69  
URL/http://www.iwacommune.net/

■株式会社 千代田テクノル 福島営業所

TEL/0240-26-0400 住所/福島県双葉郡楢葉町大字上繁岡字小六郎86番地4  
URL/http://www.c-technol.co.jp/

■ひまわり信用金庫

TEL/0246-23-8500 住所/福島県いわき市平字二町目10  
URL/http://www.shinkin.co.jp/himawari/

■株式会社 山崎工業

TEL/0246-29-1255 住所/福島県いわき市平上荒川字桜町60  
URL/http://www.yamazaki-kogyo.co.jp/

## 9 NPO と企業の協働マッチング会後の協働事業の成果

11月28日(火)会津会場、11月29日(水)福島会場、12月1日(金)いわき会場での「NPOと企業との協働マッチング会」の後、ふくしま地域活動団体サポートセンターのアフターフォローのもとでの参加NPOと参加企業との協働に関する成果または3月末現在の進行状況を以下に報告する。

### 報告(1)企業イベントへのNPOからの提案

■NPO／A:NPO法人 いわき鳴き砂を守る会

B:NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会

■企業／株式会社 福島銀行

#### ①協働事業の内容や目標

福島銀行が年4回実施している「10大イベント」(年間計40回)の企画アイデアをNPOから提案し、協働して企画運営を進める。

#### ②双方のメリット

NPO／自団体の活動を広くPRすることができる。またそれにより次の展開として寄付や活動協力等に繋がっていく可能性も生まれる。

企業／自社事業において自社のみでは収集が難しい地元密着型の企画や情報を得ることができる。また地域の素材を活かした社会貢献活動として企業イメージのアップにも繋がられる。

#### ③成果または進行状況

3月22日(木)いわき鳴き砂を守る会2通、裏磐梯エコツーリズム1通の企画提案書を提出。

平成30年3月末現在、福島銀行にて企画内容を検討中である。

福島銀行としては「ほかにもNPOとどんな協働が出来るか模索していきたい」との考えあり。

#### 協働に関する資料

資料90101 「ふくぎん春の10大イベント」チラシ(参考)

資料90102 裏磐梯エコツーリズム協会の企画提案書

資料90103 いわき鳴き砂を守る会の企画提案書1

資料90104 いわき鳴き砂を守る会の企画提案書2



# 2018 ふくぎん 春の10大イベント

## ～今しかないこの春限定“ふくしま”～

**EVENT 1** ひな祭りをもっとおいしく楽しく ひな祭り料理教室

2/26 月 開催地: 福島市 出発地: 福島市



ひな祭りやこれからの季節にピッタリな「さくら寿司」「さくらもち」「お吸い物」「チキンチーズカツ」を作ります。一年に一回のひな祭りに工夫してみませんか？  
講師: 三瓶 静子氏  
募集人員15名様・募集中

**EVENT 2** ふくぎん社会科見学～マスコミの裏側に迫る！～ 生放送と新聞はこうして作られる

3/23 金 開催地: 福島市 出発地: 福島市



株式会社テレビビュー福島放送「げっせんチェック」の放送現場を見学します。生放送ならではの緊張感や放送現場の裏側までお見せします。また、株式会社福島民報社の本社では記者が新聞の校正をしている現場を見学、印刷センターでは紙面になるまでを解説で見学します。マスコミの裏側に密着します。  
募集人員20名様・2月下旬詳細決定

**EVENT 3** 第一回初心者向け ふくぎんパークゴルフ大会

4 月中旬予定 開催地: 福島市 出発地: 現地集合



第一回初心者向けふくぎんパークゴルフ大会を開催します。指導員からパークゴルフの講習を受け、実技練習をした後、2コース18ホールの大会を開催します。道具を持ってなくても誰でも参加可能です。協力: 福島市パークゴルフ協会  
募集人員30名様・3月上旬詳細決定

**EVENT 4** ふくぎん社会科見学～新たな福島之光～ 原子力災害ロボットと夏再開予定「ウイレッジ」見学

4/13 金 開催地: 富岡町・楳葉町 出発地: 福島市



富岡町で、震災時の富岡町を撮影した映像をVRで鑑賞をした後、夜ノ森の桜等、富岡町内を巡ります。また、平成30年夏、一部営業を再開する株式会社「ウイレッジ」。公開前のホテルの内部や工事中の全天候型サッカー練習場を見学します。さらに、楳葉遠隔技術開発センターでは、原子力災害のロボット等の説明を受け実際に動いているところを見学します。  
募集人員40名様・3月中旬詳細決定

**EVENT 5** 地元クロニクスアップ第5弾～石川町～ 2000本の桜が作る「桜谷」と山菜摘み

4/17 火 開催地: 石川町 出発地: 会津若松市・郡山市



約2000本の桜が咲き誇る石川町のおよそ6キロの桜並木。その中の一番の見どころを石川町さくらボランティアガイドと一緒に巡ります。桜の解説やビューポイントの説明付。さらに、「農園cafeやい子ばあちゃん」にて山菜摘みを体験します。昼食は採れたて野菜や無農薬のお米を使ったランチ。  
募集人員25名様・3月中旬詳細決定

**EVENT 6** 地元クロニクスアップ第6弾～柳津町～ 歩いて満喫「春の柳津町」

4/26 木 開催地: 柳津町 出発地: 福島市・郡山市



赤べこでも有名な福満虚空藏菩薩開眼蔵寺から弘法大師が杖を突いて満きだしたという弘法大清水、春にしかみることが出来ない国の天然記念物の「うぐい」の群生地まで歩いて巡ります。また、斎藤清美術館を学芸員の解説で見学。  
募集人員40名様・3月下旬詳細決定

**EVENT 7** 母の日に贈る 愛情たっぷりカーネーションバスケット作り教室

5/8 火 開催地: 郡山市 出発地: 現地集合



母の日に贈る、造花を使ったカーネーションバスケットを作ませんか？今回はカーネーションでブーンドアレンジを作ります。造花で作るので一生の思い出として残ること間違いなし！  
講師: Fumie アトリエ  
募集人員20名様・4月上旬詳細決定

**EVENT 8** 歴史のスペシャリスト菅野淳一氏とゆく 会津まほろば街道～南部編～

5/11 金 開催地: 会津美里町 出発地: 福島市・郡山市



会津盆地の西側を南北に走る通称「会津まほろば街道」。今回は、街道の南部に点在する、龍興寺や合資会社白井酒造店、法用寺から中田観音までを菅野さんの解説で巡ります。協力: NPO法人ヒューマン・ネットワークふくしま  
募集人員40名様・4月上旬詳細決定

**EVENT 9** 戊辰戦争150周年！ 「奥州街道」に眠る戊辰戦争の跡を訪ねて

5/17 木 開催地: 白河市 出発地: 福島市・郡山市



戊辰戦争150周年に合わせて、白河の関を出発点に最大の激戦地「碓氷山」を通り小峰城まで、「奥州街道」沿いにある戊辰戦争ゆかりの史跡等をボランティアの解説で巡ります。街中の関川寺や皇徳寺等を歩いて訪ねます。  
募集人員25名様・4月中旬詳細決定

**EVENT 10** 旧家のここがすごい～福島市編～ その土地ならではの旧家の特徴を探れ

5/24 木 開催地: 福島市 出発地: 福島市



漆喰のレリーフが施されている洋室が残る嶋貫邸、吾妻山から500人がかりで運んだ石が残る日本庭園を持つ矢吹邸、茅葺屋根が残る佐藤邸の三家を巡ります。ご当主に旧家の特徴や成り立ちについてお話を伺います。昔ながらの家具や道具まで見学できます。  
募集人員20名様・4月下旬詳細決定

●イベントは詳細決定前でもお申込みいただけます。●イベントは天候等によって内容や日時に変更がある場合がございますので予めご了承ください。 ※写真は全てイメージです。

詳しくはフリーダイヤルまたはお近くの福島銀行の窓口にておたずねください。  
**0120-40-2940** <http://www.fukushimabank.co.jp/> **福島銀行**  
 [受付時間] 午前9時～午後5時(土・日・祝日を除く)

平成 29 年度 NPO と企業とのマッチング事業

福島銀行 10 大イベントの企画提案

NO.003

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名 | NPO 法人裏磐梯エコツーリズム協会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 所 在 地 | 耶麻郡北塩原村大字松原字小野川原 1092-65 裏磐梯サイトステーション内                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 担 当 者 | 理事長 眞野眞理子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 電話番号  | 0241-23-7860                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| メ ー ル | info@eko-urabandai.com                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 企画内容  | <p>「裏磐梯でジュンサイの摘み取り体験・調理と周辺散策」(仮称)</p> <p>【実施時期】 7 月初め～8 月初め</p> <p>【日帰りツアー (案)】</p> <p>9:45 ジュンサイ畑集合→10:00/11:30 摘み取り体験 (船の乗り方・摘み取りレクチャー) →11:45 サイトステーションにて調理→12:00 昼食→13:00/14:30 レンゲ・中瀬沼散策→15:00 終了式→15:15 出発</p> <p>【予算】</p> <p>摘み取り体験(保険代)1,600 円</p> <p>昼食(調理指導つき) 1,000 円</p> <p>レンゲ・中瀬沼散策(ガイド付き) 1,000 円 合計 3,600 円</p> <p>【参加者準備】</p> <p>ぬれても良い格好 (着替え)、長靴、タオル、帽子、かっぱ、日焼け止めなど</p> <p>【人数】</p> <p>5 名~20 名程度</p> <p>中高年 (45 歳~70 歳くらいまで) 中心</p> |
| 備 考   | 村と NPO 法人裏磐梯エコツーリズム協会が共同でジュンサイ復活協議会を立ち上げました。摘み取ったジュンサイはお土産とします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター  
(ふくしま地域活動団体サポートセンター)

担当：後藤一光

TEL 024-521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp

平成 29 年度 NPO と企業とのマッチング事業  
 福島銀行 10 大イベントの企画提案

NO.001

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名 | NPO 法人いわき鳴き砂を守る会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 所 在 地 | いわき市内郷高坂町立野 130-61                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 担 当 者 | 事務局長 小堀 亨                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 電話番号  | 090-9532-7666                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| メ ー ル | 9xt2vi@bma.biglobe.ne.jp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| U R L | <a href="http://www.nakisuna.com/">http://www.nakisuna.com/</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 企画内容  | <p>「鳴き砂体験とサンドアートづくり」</p> <p>①時期：7 月 14 日（土）または 15 日（日）</p> <p>※日程についてはいわき市の「海開き」日が決まっていないので<br/>         現在は、ほぼこの日あたりということになります。</p> <p>②場所：いわき市薄磯海岸（または豊間海水浴場）</p> <p>いわき市「海開き」の会場にて</p> <p>③内容：（１）鳴き砂の体験<br/>         （２）サンドアート（砂の像）の制作<br/>         （３）いわき鳴き砂を守る会の活動紹介</p> <p>④時間：2 時間くらい（内容に応じて時間調節は可能です）</p> <p>⑤費用：材料費等、特になし</p> <p>⑥参加キャパ：20 名くらい（超えても大丈夫です）</p> |
| 備 考   | 取り合えず会場に来ていただければ大丈夫です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター  
 （ふくしま地域活動団体サポートセンター）

担当：後藤一光

TEL 024-521-7333 メール [f-matching@f-saposen.jp](mailto:f-matching@f-saposen.jp)

平成 29 年度 NPO と企業とのマッチング事業  
 福島銀行 10 大イベントの企画提案

NO.002

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名 | NPO 法人いわき鳴き砂を守る会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 所 在 地 | いわき市内郷高坂町立野 130-61                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 担 当 者 | 事務局長 小堀 亨                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 電話番号  | 090-9532-7666                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| メ ー ル | 9xt2vi@bma.biglobe.ne.jp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| U R L | http://www.nakisuna.com/                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 企画内容  | <p>「いわきプラージュ～鳴き砂とサンドアート体験」</p> <p>①時期：9月7日（金）～9日（日）</p> <p>②場所：いわき駅前多目的広場の会場にて</p> <p>③内容：（１）鳴き砂の体験<br/>         （２）砂絵教室<br/>         （３）サンドアート（砂の像）の制作<br/>         （４）いわき鳴き砂を守る会の活動紹介</p> <p>④時間：2時間くらい（内容に応じて時間調節は可能です）<br/>         9/7（金）9:00～16:00 で可能<br/>         9/8（土）10:00～16:00 で可能<br/>         ※11:00 頃から高校生フラダンスの披露あり<br/>         9/9（日）10:00～15:00 で可能</p> <p>⑤費用：材料費等、特になし</p> <p>⑥参加キャパ：20名くらい（超えても大丈夫です）</p> |
| 備 考   | <p>取り合えず会場に来ていただければ大丈夫です。</p> <p>“プラージュ”とはフランス語で浜辺の意味。いわき駅前に浜辺を作って砂に触れあいながら楽しみましょうというイベントです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター  
 （ふくしま地域活動団体サポートセンター）

担当：後藤一光

TEL 024-521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp

## 報告(2)NPOのスキルを活用して企業内での社員研修の実施

■NPO／特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリースターセンター

■企業／A:株式会社 福島銀行

B:こころネット 株式会社

C:倉島商店 株式会社

### ①協働事業の内容や目標

ふくしまバリアフリースターセンターが制作した冊子「みんながまた来なくなる ふくしまのおもてなし～入門編～」を活用してNPOスタッフが講師となり、企業内(各店舗等)における障がいのあるお客様へのバリアフリーでのおもてなしを実現するための「バリアフリーおもてなし勉強会」を実施する。

### ②双方のメリット

NPO／自団体の事業を展開する場を得ることができ、さらに活動PRに繋ぐこともできる。

企業／自社にないNPOスキルを学ぶことができ、自社事業に活かすことができる。

### ③成果または進行状況

A:福島銀行では平成30年4月以降に内容詳細について実施可能かどうかともあわせて更なる打合せを予定している。またマッチング会がきっかけで、ふくしまバリアフリースターセンター主催3月21日(水)実施「花見山観光サポートセミナー」について参加者募集の告知を福島銀行の社内報に掲載し社員に周知することとなった。

BとC:平成30年3月末現在、こころネットと倉島商店については社内検討中。

こころネットでは「自社の終末期サポート等についてNPOとの協働の可能性を探りたい。NPOと協働し現場の情報を得ることで今までより一歩踏み込んだサポートができないか。店舗設計など顧客の利便性向上にNPOのノウハウも活かしていきたい。自社で行っている高齢者支援活動でもお互いのノウハウを共有していきたい」との考えあり。

倉島商店では「自社の社内研修にNPOのノウハウが活かせないか。逆にNPOからの職場体験を受け入れることでNPOへのノウハウ提供や、協働事業に伴う社内活性化やCSR活動拡大の可能性がないか探りたい」との考えあり

### 協働に関する資料

資料90201 冊子「みんながまた来なくなる ふくしまのおもてなし～入門編～」の表紙

資料90202 冊子「みんながまた来なくなる ふくしまのおもてなし～入門編～」の中身一部

お客様と接する皆さまへ（宿泊施設・飲食店・交通事業者など）

# みんながまた来たくなる ふくしまの おもてなし

～ 入 門 編 ～



特定非営利活動法人  
ふくしま  
バリアフリー  
ツアーセンター

Welcome  
to  
Fukushima  
City



## 車イス利用のお客様をおもてなし

- 全く歩けない方や、長い距離が歩けない方がいます。
- 足が不自由な方は、車イスや杖などを使って移動します。
- 足だけではなく、全身に障がいがある方や話すことが不自由な方もいます。
- 階段はもちろん少しの段差、デコボコ、急勾配にも支障があります。
- 車イスは、幅の狭い所は通れません。高い所に手が届きません。
- 利用できるトイレが少なくて困ります。



### 車イスについて知っておきましょう

※機種によって若干異なります。



## 基本のおもてなし

- 1 困っている人がいたら勇気を持って「何かお手伝いしましょうか」とお声がけしましょう。お手伝いが必要か、またお手伝いの方法についてご本人にうかがいます。



同じ目線になって話しましょう。



介助者ではなく本人と話しましょう。

例えばこんなお手伝い



高い所の物を取ってあげましょう。



ドアを開けてあげましょう。



近くの「多機能トイレ」の案内ができるように調べておくとういでしょう。

## もうひとつの心づかい



届く位置に呼び鈴を設置するとよいでしょう。



車イスが通れるか検証しておくとういでしょう。



段差を減らす工夫をするとういでしょう。

車イス利用者

## 報告(3)企業のリサイクル理念の普及にNPOのスキルで協力する

■NPO／A:NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会

B:NPO法人 喜多方市民活動サポートネットワーク

■企業／荒川産業 株式会社

### ①協働事業の内容や目標

荒川産業所有の「くるりんこミュージアム」を使用して、CSRの一環として取り組むリサイクルの理念を普及させるためにNPOのスキルを活用してリサイクルをキーワードにした勉強会や工作教室等のイベントを実施する。

### ②双方のメリット

NPO／自団体の活動を広くPRすることができる。またそれにより次の展開として寄付や活動協力等に繋がっていく可能性も生まれる。

企業／自社の理念を分かりやすく伝えることができるとともに自社施設を有効に活用することができる。また社会貢献活動の一環として企業イメージのアップにも繋がられる。

### ③成果または進行状況

A:平成30年4月21日(土)昭和村公民館企画の荒川産業工場見学(小学生18名)の際に裏磐梯エコツーリズム協会が「くるりんこミュージアム」で水源の環境保護や水のリサイクルに関するミニ勉強会を実施。

B:平成30年7月～8月に荒川産業と喜多方市民活動サポートネットワークが協働で「くるりんこミュージアム」にてリサイクルの古布を利用した「裂き織り教室」を開催する予定。また今後「牛乳パックを使った工作」などこの工作教室はシリーズ化していく予定。

さらにマッチング会をきっかけに平成30年7月23日(月)喜多方市民活動サポートネットワークが実施する「夏休み宿題お助け広場」にて荒川産業がリサイクルに関する工作やゲームコーナーにおいて協力する予定。

### 協働に関する資料

資料90301 裏磐梯エコツーリズム協会の企画提案書

資料90302 喜多方市民活動サポートネットワークの企画提案書

資料90303 ミニ勉強会の配布資料

## NPO と企業とのマッチング事業 企画書

2018年3月23日

|        |                                                                                                                                                                                                 |    |               |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|
| 企画名    | 荒川産業（株）リサイクル施設見学に伴う提案（小学4年生～中学生編）                                                                                                                                                               |    |               |
|        | 「もうひとつのリサイクル」                                                                                                                                                                                   | 期間 | 通年、第1回4/21（土） |
| 団体名    | NPO 法人裏磐梯エコツーリズム協会                                                                                                                                                                              | 担当 | 眞野眞理子         |
| 背景     | 小中学生とその親子などに向けて行っている御社の取り組みに、自然環境や水のリサイクルなどを組み込み、自分たちの地域の環境を学ぶきっかけとしていただければ、子どもたちの視野も更に広がっていくのではないかとされる。ゴミの分別方法とリサイクル施設の見学によって、生活ゴミの処分について学び、その際、見えない生活ゴミである「水（汚れの入った混入水）」についても考察できる学習の機会を提案する。 |    |               |
| 概要     | 御社に見学に来た小中学生に対し、職員の方から生活ゴミの処分について説明を受けたあと、もうひとつのリサイクルである汚水に焦点をあて、更に廃棄物について理解を深める。その際、ペットボトルや缶に残った中身などにも注意を向ける。                                                                                  |    |               |
| 対象年齢   | 小学4年生～中学生まで                                                                                                                                                                                     |    |               |
| 目的     | 使用された水のゆくえをたどることで、自分の使う水にも責任を持つことができる。                                                                                                                                                          |    |               |
| メリット   | 飲み残しをしないよう最初から飲みきれ分量にするなど自分の適量を考えることもでき、無駄な買い物をしないことに繋がる。                                                                                                                                       |    |               |
| スケジュール | 荒川産業リサイクル工場見学 → くるりんミュージアムの資料室見学説明<br>→ 裏磐梯エコツーリズム協会の取り組みの紹介<br>(→また将来的にはそのまま裏磐梯に移動し浄水場の見学などを入れることも可能です。今後検討していければと考えています。)                                                                     |    |               |
| 予算     | 「もうひとつのリサイクル」チラシ（参考資料別途添付）印刷代は？                                                                                                                                                                 |    |               |
| 準備物    | チラシ、パネルなど                                                                                                                                                                                       |    |               |
| 備考     | まず4月21日（土）の昭和村公民館さんの見学で上記内容でやってみて、問題点など修正を加えつつ少しずつ進めていければと考えています。                                                                                                                               |    |               |

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター（ふくしま地域活動団体サポートセンター）

TEL 024-521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp 担当：後藤一光

平成 29 年度 NPO と企業とのマッチング事業 企画提案書

2018.3.30

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名 | NPO 法人喜多方市民活動サポートネットワーク（さぽねっと）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 所 在 地 | 福島県喜多方市字水上 6846 喜多方市厚生会館内                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 担 当 者 | 渡部美加                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 電話番号  | 0241-22-1186（厚生会館事務室）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| メ ー ル | kouseikaikan.kitakata@gmail.com                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 企画内容  | <p><u>リサイクル古布を使った「裂き織り体験」(仮称)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣旨：「リサイクル」をキーワードにした工作教室を実施し、「くるりんこミュージアム」を有効活用するとともに、参加者のリサイクルについての関心を深め、リサイクル関連知識等を伝える機会とする。</li> <li>・内容：裂き織り体験</li> <li>・会場：荒川産業「くるりんこミュージアム」にて</li> <li>・実施時期：7月～8月ごろの午後あたり</li> <li>・体験時間：2時間ほど（糸通しなど下準備含めず）</li> <li>・講師：喜多方市社協 高齢者生産活動センターの経験者をお願いする</li> <li>・織機：高齢者生産活動センターよりお借りする（最大で 10 台）</li> <li>・参加者：一般の方をチラシ等により募集する（親子可、最大 10 組まで）</li> <li>・参加費：ひと織り（60 cm×25 cm）につき材料代として 700 円</li> </ul> <p>※制作物は持ち帰ることができる。</p> <p>-----</p> <p>スタッフ事前体験として・・・</p> <p>6/10（日）高齢者生産活動センターの「センターまつり」にて裂き織り体験をすることが可能です。</p> |
| 備 考   | <p>喜多方さぽねっとのホームページ</p> <p><a href="http://shiencenter-kitakata.jp">http://shiencenter-kitakata.jp</a></p> <p>喜多方市社協 高齢者生産活動センター</p> <p><a href="http://www.kitakata-shakyo.or.jp/facility/katsudo_center/">http://www.kitakata-shakyo.or.jp/facility/katsudo_center/</a></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター  
（ふくしま地域活動団体サポートセンター）担当：後藤一光  
TEL 024-521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp

# もう一つのリサイクル

## みんなが飲んでる“水”のこと。ホントに知ってる？

ビンや缶、燃えるゴミ。分別するのは当たり前のこと。

みんなも、お父さんやお母さんのお手伝いで、「可燃物」「不燃物」「資源ゴミ」

「リサイクルできるビンや缶」など、捨てる前に分けたことがあるよね？

でも、みんなが生活の中で出すゴミの中で、もう一つ重要なリサイクル資源があるのだけど・・・  
何かわかるかな・・・？ 「そう、それは“水（汚れの入った混入水）”なんだ。」



だから

みんなができる“リサイクル”にご協力お願いします。  
「飲み残しゼロ運動」さあ、はじめましょう！



コップに残った麦茶や、ペットボトルに少～しだけ残ったコーラ。  
・・・「コレだけだから、流しに捨てちゃおう。」なんて言っちゃうキミ！  
「ちょっとまって！！」

このちょっとだけが、浄水場の微生物に負担をかけてしまうんだ。  
だから、最初から飲み切れるだけの量をコップに分けたり、きちんと飲み切って  
しまう事がとっても大事。おなかの浄化作用のほうが素晴らしいんだから！

NPO 法人 裏磐梯エコツーリズム協会

〒969-2701

耶麻郡北塩原村大字桧原小野川原 1092-65

TEL:0241-23-7860 FAX:050-7541-2411

<http://www.eco-urabandal.com>

## 報告(4)NPOの情報発信を企業のスキルで協力する

■NPO/A:特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

B:特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリースターセンター

■企業/福島コミュニティ放送 株式会社

### ①協働事業の内容や目標

NPOの情報発信力の不足を企業のスキルでバックアップし、また企業の情報収集力をNPOの地元密着型のネットワークで補う。具体的にはNPOの実施する事業やイベントの情報をFMポコという地域コミュニティ放送の番組で取り上げ、NPOスタッフ出演のもと情報発信を行った。

### ②双方のメリット

NPO/自団体の活動を広くPRすることができる。またそれにより次の展開として寄付や活動協力等に繋がっていく可能性も生まれる。

企業/自社のみでは収集が難しい地域密着の情報を得ることができ、また地域メディアを有効活用していただける。

### ③成果または進行状況

今回のマッチング事業をきっかけとして、以下の3事例が実現した。

A:12月18日(月)17:20よりビーンズふくしまのスタッフが生放送番組「みんなのラジオ～FUKUSHIMA TOWN VOICE～」に出演し、同団体が現在実施している社会福祉法人福島県共同募金会「地域課題解決型募金」を活用した「子供の居場所づくり」事業の寄付協力の告知を行った。

B:3月5日(月)17:20よりふくしまバリアフリースターセンターのスタッフが生放送番組「みんなのラジオ～FUKUSHIMA TOWN VOICE～」に出演し、同団体の活動紹介と3月21日(水)実施の「花見山観光サポートセミナー」の参加者募集について告知した。

B:3月27日(火)ふくしまバリアフリースターセンターのスタッフが収録番組「原美子と木曾明美のポコッ3とチャレンジ」(放送は3月31日(土)17:30より)に出演し、同団体の旅行企画「花見山ゆったりおさんぽコース」のPRをおこなった。

その他、FMポコのスタジオ前の掲示板へのポスターチラシ等の掲示協力をいただくなどした。

以上3事例であるが、福島コミュニティ放送としては今後も「地域情報の収集、発信の方法のひとつとしてNPOからの地域情報を提供いただきたい」とのことであった。

### 協働に関する資料

資料90401 ビーンズふくしま共同募金会資料(抜粋)

資料90402 「花見山観光サポートセミナー」チラシ

資料90403 「花見山ゆったりおさんぽコース」チラシ

プロジェクト

1

## 子どもの居場所づくり

特定非営利活動法人

ビーンズふくしま



安心できる居場所を、不登校・貧困を背景に孤立する子どもたちへ  
子どもの居場所を創出し、地域と関わりながら子どもたちの生きる力を育む

### 【現状】

私たちは、不登校、貧困等の理由で、社会から孤立しがちな子ども・若者の支援をしています。「自分が大切な存在だ」という自己肯定感をもてる、安心できる居場所を、多様な学びや人とのつながりを通して子どもたちに「生きる力」を育んでほしいと願っています。「学びたい」「人とつながりたい」という思いは子どもが本来持っています。人間関係で傷ついたり、孤立している子どもが、その思いを叶えられる居場所が必要です。

### 【取組内容】

- 仲間とつながり、ほっとできる居場所づくり
  - 子どもの自信を育む社会貢献活動・体験活動
  - 困窮家庭の子どもへの学習支援と食事会
- 【目指す成果】

安心できる居場所での体験や経験を通して、不登校や貧困で孤立していた子どもたちの自己肯定感の向上を図る。そして、子どもたちが自ら意思をもって、進路や生き方を決め、社会とつながっていけるようになる。



○車いす利用の方やお身体に不安のある方へ。

おさんぽコース参加者専用駐車場をご用意しました！

## 花見山ゆったりおさんぽコース

車いす利用の方が花見山の美しい風景を「安心して」ご覧いただけるよう、車いす介助ボランティアとボランティアガイド「ふくしま花案内人」が散策をお手伝いします。サクラ、ハナモモ、ロウバイ、レンギョウなどが咲き乱れる、福島の桃源郷「花見山」をゆったりお楽しみ下さい。



＜花見山公園 ※イメージ＞



＜車いす介助バー（JINRIKI）を使って案内 ※イメージ＞

＜出 発 日＞ 平成30年4月1日(日)～22日(日)

＜出発時間＞ ①10:00～ ②13:30～ ※各回1組限定

＜旅行代金＞ 4,000円 ※花見山環境整備協力金を含む

＜行程＞（…徒歩）

**花見山本部付近（集合時間：5分前）**

…ウォーキングトレイル……**花見山公園**……物産ひろば……花見山本部  
（ゆずりあいコースを散策）

◆申込締切：出発日の7日前まで

◆所要時間：約1.5時間

◆募集人員：各回1組 車いす1台（最少催行人員1名）

◆ガイド：ボランティアガイドふくしま花案内人 ◆車いす介助：ふくしまBFTCボランティアスタッフ

※旅行当日に雨天・荒天が予想される場合

お客様とご相談のうえ、天気予報を参考に、事前（旅行前日）に中止とする場合がございます。その場合、取消料は不要ですが、返金に伴う振込手数料はお客様負担をお願いします。

※ボランティア手配等の都合により、希望の日時・時間の申込をお受けできない場合がございます。

※車いすの方2名まで対応可能ですが、料金等の詳細についてお問合せ下さい。

※介護事業者からのお申込みはご遠慮下さい。

＜旅行企画・実施＞ 福島県知事登録旅行業 第2-324号 （一社）全国旅行業協会会員

**（一社）福島市観光コンベンション協会 TEL:024-531-6432**

〒960-8031 福島市栄町1-1（JR福島駅西口2F） 総合旅行業務取扱管理者 高橋 康 E-mail:kankou@f-kankou.jp

＜企画協力＞ NPO法人 ふくしまバリアフリーツアーセンター

TEL/FAX:024-531-7382 E-mail:fukushima-bftc@bz03.plala.or.jp

## 報告(5)NPOの事業展開の場を企業に求める

■NPO／特定非営利活動法人ビーンズふくしま

■企業／A:こころネット 株式会社

B:タカラ印刷 株式会社

### ①協働事業の内容や目標

ビーンズふくしまの実施している厚生労働省認定「ふくしま若者サポートステーション」事業のひとつである「職場体験・就労支援事業」を、こころネットおよびタカラ印刷の社会貢献の一環として受入れていただけないかとの提案。

### ②双方のメリット

NPO／自団体の事業を展開する場を得ることができる。

企業／CSRとしての社会貢献活動をPRすることができ企業イメージのアップにも繋げられる。

### ③成果または進行状況

平成30年3月末現在、こころネットおよびタカラ印刷ともに社内にて検討中とのこと。

### 協働に関する資料

資料90501 「職場体験・就労支援事業とは」

資料90502 「職場体験の流れ」

## 職場体験・就職支援事業とは……

職場体験を通して、社会参加の実感と、職業理解や仕事に対する自信をつけ就職への一歩を踏み出すことを目的としています。

### 職場体験期間

1週間（5日）以上～3ヶ月以下  
1日 4時間以上8時間以下  
（1週当たり 20時間以上40時間以下）

（例）

1日4時間×5日間→20時間  
1日6時間×5日間→30時間  
1日8時間×5日間→40時間

労働賃金・交通費等の発生、雇用に結び付くような条件等は一切ありません。

「お仕事を体験する場」を必要としています。  
就職への一歩が踏み出せない若者のために「お仕事を体験する場」をご提供いただけませんか？ご協力をお願い致します。

## 職場体験の流れ

募集開始

- ・希望者の募集
- ・プログラムに関する説明の実施

事前打合せ

- ・体験期間の日程、体験内容はサポステと打合せの上決定

体験期間

- ・受入れ先企業様、プログラム参加者のフォローアップにサポステスタッフが伺います。

体験終了

- ・参加者の評価をお願いします。
- ・「職場体験報告書兼請求書」のご提出
- ・連絡会議の開催

## 報告(6)NPOのスキルで企業のウェブサイトによる情報発信へのアドバイス

■NPO／特定非営利活動法人ふくしまバリアフリースターセンター

■企業／倉島商店 株式会社

### ①協働事業の内容や目標

ふくしまバリアフリースターセンターからの提案で、クラシマ各店舗のバリアフリー情報をウェブサイトで公開し店舗利用者に的確な情報を伝える。

### ②双方のメリット

NPO／自団体の理念(バリアフリー)の普及を遂行できる。

企業／NPOのスキルを活用し自社の店舗施設の見直しや顧客の利便性の向上に繋げられる。

### ③成果または進行状況

このマッチング事業をきっかけに、クラシマ各店舗のバリアフリー情報を伝えるウェブページが5月に公開予定となる。

## 報告(7)NPOの活動告知の場を企業に求める

■NPO／特定非営利活動法人ビーンズふくしま

■企業／倉島商店 株式会社

### ①協働事業の内容や目標

倉島商店が開催する秋の「感謝祭」でのボランティアスタッフの提供、ステージ上やNPOブースでの団体活動の告知

### ②双方のメリット

NPO／自団体の活動を広くPRすることができる。またそれにより次の展開として寄付や活動協力等に繋げていく可能性も生まれる。

企業／CSRとしての社会貢献活動をPRすることができ企業イメージのアップにも繋がられる。

### ③成果または進行状況

倉島商店が秋に開催する「感謝祭」イベントにてビーンズふくしまの若者支援事業の一環としてボランティアスタッフの派遣や団体ブースの設置、ステージへの出演および団体活動の告知などについて、H30年4月以降に再度話し合いの場を設けて進めていく予定。

## 平成29年度NPOと企業等のマッチング事業実施後アンケート集計(NPO)

平成29年10月～12月に実施した福島県主催のNPOと企業の協働マッチング事業について以下の質問にお答えください。

### Q1. マッチング事業に参加しての感想をお聞かせください。

- 企業の皆様にアピールできる数少ない機会を頂きまして、非常に有意義でした。また、プレゼン講座も非常に勉強になりました。
- 他のNPOの活動を知ることができ、また、企業はどのようなニーズを求めているのか?NPOに期待しているのかがわかる貴重な体験となりました。今後の活動に生かせると思いました。
- 企業との協働について、漠然としか考えていませんでしたが、自分たちが何を提供できて、何を提供してもらいたいかということ整理する機会となり良かったです。
- 私どもとしては、NPOの設立をしたばかりであり大変ありがたい事業だった。
- 参加企業の反応、意識の高さに感心しました。今後各企業とのコラボが楽しみです。
- 普段の業務内容では、会うことがない企業との出会いができとても良かったのですが、終わった後の繋がりとどのようにすればいいのかが難しいところです。
- 大変勉強になりました。事業の内容が具体化されていない現状であったため、なかなかマッチする企業さんはいなかったと思いますが、パワーポイントの作り方等別の方面で勉強になりました。
- 大変参考になりました。
- 様々な企業から地域貢献を熱心・真剣に考えて下さる皆様、そしてNPOの皆様とお会い出来てとても有意義でした。
- 中間支援として参加させて頂きました。業界としては想いを目標として活動をしがちですが、実は目標としている想いの整理ができておらず、企業とマッチングする際に足りないところばかりで難しさを感じました。
- 説明が全般に多すぎる。個体が参加するのであるから、もっと真剣にいかないとダメ。

### Q2. 企業との協働について貴団体の今後の展開・やるべきことなどお聞かせください。

- 一度のマッチング機会だけではなく、サポートセンターのアフターフォローもあり、担当者同士しっかりつながることが出来始めていると思います。お互い負担にならない範囲でまずはできるところから取り組みたいと思います。
- 企業にとっては不得手であったり、やりにくいことでも、私たちNPOの可能な範囲で協働できることを再考せねば。
- さっそく地元企業とつないでいただいたので、うまくいくよう協力しあいたいと思います。
- 従来行っている活動が、ご紹介いただいた企業とどのように連携できるのかを探っていきたいと思います。
- 平成30年度のメインの新規事業として、鳴き砂ミュージアムの開設:常設展示。継続してきたこと、6月いわき子どもまつり(砂絵、砂あそび)。7月アクアフエス(清掃、鳴き砂・線量調査)、いわき市海開き支援。9月いわきプラージュ(いわき駅前に砂浜)。10月避難者支援。随時砂絵教室を企業協働もかんがみながら実施していきたい。

- 当法人の基盤強化(スタッフを増員していつでも動ける体制づくり)。
- 事業内容を具体的にし、何を協働するのかを明確にする。
- もう少し内容を煮詰めて話をしたいと思います。
- 劇団が得意とするエンターテインメントを通じて、福島県内の〈生きる力〉をより一層向上させられる活動を続けて参ります。
- 自主事業の整理(相手に伝わる事業)と企業が求めていることへの連携について出来ることへの整理(勉強・スキルアップ)。
- 今後、各レベルでの関係を強めていきます。

### Q3.マッチング会の実施内容についてご意見があればお聞かせください。

#### 1.実施期間 (平成29年度は11月末～12月上旬に実施)

- 次年度の事業計画にも反映できるので良い(もう少し早くても可)連携までには時間がかかるため。
- 企業やNPOが翌年度の活動として取り込みやすい時期であるのがBEST。
- 特に問題ないと思います。
- 繁忙期の準備が終わると比較的時間が取りやすい。
- 大変良い時期でした。
- 特に問題はありませんが、できれば春先に行えれば当法人の活動にお誘いもできるタイミングで助かります。
- 問題ない。
- 問題ないかと思われます。
- 12月中旬を希望。
- 11月ごろが良い。

#### 2.いわき・福島・会津3地域に分かれての実施について

- 各地域の企業が地域ごとに集まるので良い。
- 地元指向の強い内容だと、地元での受講でいいと思うが、日程が合わず、他地域を受講された方と、思わず交流できたのも楽しかった。
- 会場が近いので良いけれど、事前講座はいろんな地域の団体を知る機会となったり、参考にさせていただいたりできるので分けなくてもよい気もします。
- 地域同士で手を繋いでいくことが大事だと思うので、第一段階としては良かったと思う。
- 今後、いわき以外のマッチング会にも参加していきたい。
- できれば一カ所(会場が難しいと思いますが)だと、より多くの企業との出会いや、違う地域で活動しているNPO法人とも繋がりが持てると思います。
- 一カ所でやるべき。
- 郡山での開催もあれば、より多くの企業が参加できるのではないのでしょうか？
- 福島市への参加を希望。
- よろしい。

### 3.実施内容

#### (1)アプローチ講座

- 非常に勉強になりました。
- 各々、発見があり良かった。どう熱い思いを伝えればいいのかの技を教えていただいた。
- 自団体を見つめ直す機会となり良かった。プレゼン講座はやはり少人数のほうがやりやすいと思います。
- 再度確認することにつながり良かったと思う。
- 良い勉強の機会になった。
- アプローチ講座では、どのようにアプローチすれば良いのかを知ることができて、とても良かったです。
- プレゼン講座も事前の練習をするなかで、伝え足りない部分などを指導していただけて、本番を迎えられたのでとても良かったです。
- 参考になりました。
- とても勉強になりました。有難うございます。
- とても必要なスキルだと思う。
- プレゼン中心に、時間配分に気を付けたい。

#### (2)マッチング会

##### ①NPOから企業へのプレゼンについて

- 企業からのフィードバックがもっとあると良い。
- 具体的なアドバイスをいただけて参考になった。
- 時間制限があつたが、守られていない。思いのたけをぶつけることも検討。
- 事前練習があつたので、何とか落ち着いてプレゼンができたと思いますが、内容を盛り込みすぎたか当法人について、どのくらい伝えられたかが疑問です。
- 可能なら、もう少し時間が欲しいですし、動画も使用させて頂ければと思います。
- 企業との交流をとても希望しているので、今後も勉強会に参加したい。
- 内容が弱かった。(反省)

##### ②プレゼン後のNPOと企業とお見合いについて

- 意見交換などの時間がもっとざつぐばらんな会になれば良い。
- 多少、予め企業が何を期待して参加されたかがわかる情報があれば、フォーカスした内容も考えられたかも。
- 伝えきれなかったことをじっくりお話しできて良かったです。地域の企業だからこそ、すぐにつながれそうな感じもあり、ここは地域ごとで良かったと思います。
- 良い関係を築いていかなくてはと思っている。
- お互いに気持ちを伝えることができた。
- 福島会場は、NPOより企業の参加者が多くて、2社同時の話し合いでは、会話がどうしても一社に偏っていた気がします。
- お見合い形式だとじっくりお話しができますが、どうしても形だけの会話になってしまうような気がします。もし

かしたら立食しながらの会話の方が、もっと突っ込んだお話ができたかもしれません。

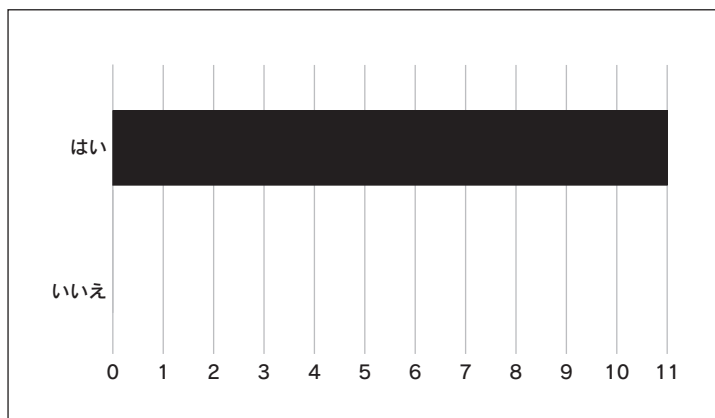
- 企業が何を求めているのかを知りたかった。
- 企業様からの意見などが送られてくると有難いです。
- 開催される場所と天候次第なのかも…。

#### 4.その他改善点や希望があれば

- 私たちはプレゼンそのものに慣れていないので、このような経験は貴重。
- 今回は、NPOが企業にお願いする形でマッチングが進みましたが、逆に企業がNPOと行っていきたい協働のプランの提案などを進めていきたい。
- やっただけでなく、実業として展開できればうれしいです。
- 企業側の参加が足りないとの意見がありました。
- 両側ともに、賑やかな参加を。

#### Q4.来年度(平成30年度)も同事業が実施された場合参加しますか？

|        | 回答数 | %   |
|--------|-----|-----|
| 1. はい  | 11  | 100 |
| 2. いいえ | 0   | 0   |
| 回答者数   | 11  | 100 |



#### 理 由

- ただし、企業の期待されている内容と私たちの活動とがすり合わせられそうなら。あまりにもかけ離れていると、活動を知っていただく場にしかないかも。
- 当会としては、協賛・協働できる企業を探索していきたい。
- 新たな出会いを作りたい。

## 平成29年度NPOと企業等のマッチング事業実施後アンケート集計(企業)

平成29年10月～12月に実施した福島県主催のNPOと企業の協働マッチング事業について以下の質問にお答えください。

### Q1. マッチング事業に参加しての感想をお聞かせください。

- 超高齢社会・少子化→特に子ども達との関わりの重要性を深く感じました。
- それぞれの活動内容を知ることができ、また当行の取り組みを知っていただくことが出来るいい機会だと思います。
- NPOの様々な活動を知ることができた。
- NPOの具体的な活動内容をそれぞれ伺うことができたので有意義であった。
- 初の参加だったので新鮮でした。
- CSRの考え方に加え、CSVの概念について新たに学び、大変参考となった。次年度の方針策定に盛り込んでいきたい。
- 情報不足であったため、各NPOの様々な取り組みを知ることができ、当社は何を行うべきか考え直すきっかけとなった。
- 各NPOが色々な取組みを行っており、参考になりました。
- 各NPO団体様の活動や問題点を聴けたので、自らの業務との共通点を検討することができそうです。とても有意義な会でした。

### Q2. 企業との協働について貴団体の今後の展開・やるべきことなどお聞かせください。

- 子ども達への教育に役立ちたい計画があるので、情報を共有して実現したい。
- 10大イベント等当行の地域貢献事業とのマッチング、当行の2つの助成事業(ふるさと自然環境基金及びふくぎんみんなのサポート市民活動助成金)をNPO各団体に広く周知していきたい。
- 地域の方たちにもっと活動を知ってもらうこと。
- 「協働」ということになるとハードルは高く感じられるが、お互いの活動内容をお互いの事務所や窓口で周知するなど気軽にスタートできる部分はあるということは実感した。
- 当社が解決すべき社会的課題の再選定を行い、協働可能なNPOについて調査し、シナジーの発揮を目指していきたい。
- 今後、NPOとの協働ができるものがあれば検討したいと思います。
- その後、実現に向けて社内で検討しています。但し、まだまだ理想型には程遠い感じです。出来るところから少しずつ実施していきたいと思っています。

### Q3. マッチング会の実施内容についてご意見があればお聞かせください。

#### 1. 実施期間 (平成29年度は11月末～12月上旬に実施)

- 9～11月頃がいい。4月～6月なども。
- 会津で行う場合雪の影響もあるため少し時期を早めてもいいと思う。
- 月末・師走という時期は世の中的に忙しいので別の時期にした方がいいと思う。

- 年末の業務繁忙期であるため、それ以外がよい。
- 年末・年度末等の繁忙時期以外は特にありません。
- ベストかと思います。

## 2.いわき・福島・会津3地域に分かれての実施について

- よいのでは。
- 希望が多いところで開催するのであれば問題ないと思われる。
- あまり広域になるよりいいと思う。
- 地域が分かれているので参加しやすい。
- 可能であれば郡山地域での実施についても期待する。
- 各々の地域性もあり、今後も3地域が分かれての実施が良いと思います。
- 各NPOや参加企業の活動が、主として県内なのか？市町村内なのか？地域的な目的もあるかと思いますが、基本的には3地域別々でやったほうが、わかり易く対応し易いと思います。

## 3.実施内容

### ①NPOから企業へのプレゼンについて

- 自己紹介レベルではなく、具体的なマッチング効果はどのようにすればよいかなど提案されると良いのではないかな。
- プレゼンについて、それぞれ同じフォーマットにした方が比較や伝わりやすさが変わると思われる。
- 時間が短かったように思う。
- 非常に分かりやすい内容であり、各NPOの熱意が伝わってきて良かった。
- 各NPOでプレゼン内容の濃淡はありましたが、概ね良かったと思います。
- 各NPOともにわかり易かったと思います。共通のプレゼン用シートを事前に御用意いただくと後々も連絡をつける際に便利だと思いました。

### ②プレゼン後のNPOと企業とのお見合いについて

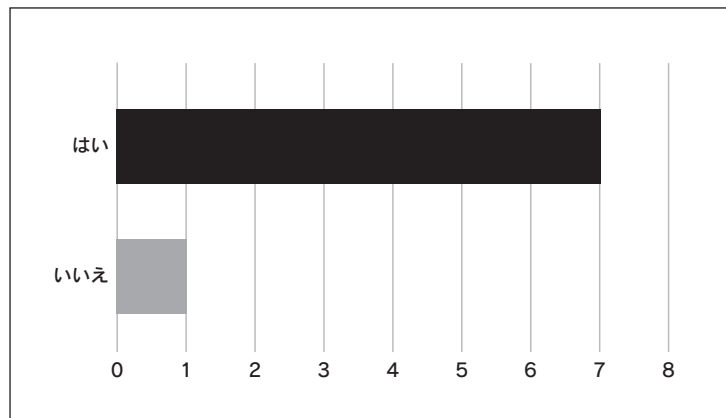
- もう少し時間が欲しい。
- 企業とNPOが必要としている事を事前に確認して互いにメリットになる組合せのみ実施したい。
- プレゼンのみでは分からない点、各NPOが期待している点や本音などの詳細について伺うことができるので良い。
- お互いの顔を見ながらの話し合いとなり、有意義であったと思います。
- 時間の制約がある分、要点を絞った内容にできればわかり易いと思う。

## 4.その他改善点や希望があれば

- 参加企業が少ない。
- 会津地域は旅行関係に関するNPOが多かったと思われるため参加企業も旅行代理店、JR等が入ると良いのでは？
- この場所で何らかの結果が出る形だと、つながりもはっきりすると思うので、事前に参加団体やNPOの情報があれば良いと思います。

#### Q4.来年度(平成30年度)も同事業が実施された場合参加しますか？

|        | 回答数 | %    |
|--------|-----|------|
| 1. はい  | 7   | 87.5 |
| 2. いいえ | 1   | 12.5 |
| 回答者数   | 8   | 100  |



#### 理 由

- 時期によっては参加できない場合があります。
- 但し、マッチングできることは限られる(イベント周知等)ため、セミナーを聞くだけの立場の方が良いのではと思います。
- 取組みをPRするいい機会であるため。
- 弊社の事業内容で協力できることが少ない為。参加は難しいかもしれません。

平成29年度

NPO強化を通じた若者定着・地域活性化事業

「NPO、企業、学生との連携・協力事業」

## **NPOと企業等とのマッチング事業 報告書**

---

平成30年3月 発行

**ふくしま地域活動団体サポートセンター**

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741

URL <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>

事業委託:福島県企画調整部文化スポーツ局 文化振興課

事業受託:認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

---